



ラ、サウ云フ場合ニ、適當ナル暫定的ナ規定ヲ設ケルトカ、或ハ職權ノ調整ヲ爲スコトガアルノデアリマスガ、其ノ場合ニ關係廳ノ協議ノコトニ付テ、何等カ規定カラ、經過的ノ規定ヲナコトヲ豫想シマシテ、サウ云フヤウナ委任命令ノ規定ヲ置イタド云フ次第デアリマスト、理由書ヲ終リカラニ行目、三行目アタリニ、「之ニ伴フ罰則規定ノ整備其ノ他必要ナル」云々、斯ウ云フ理由ガ書イテアリマスガ、之ニ依リマスト、罰則ノ末項ニ依ツテ、御制定ニナリ得ルト云フヤウニ解釋スルノデゴザイマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○森山政府委員 罰則ノ關係ハサウデハナイノデアリマス、ソレハ戰時行政特例法案ニ於キマシテハ、第二項ニ特ニ其ノ規定ヲ置イテ居ル、ソレヲ指シテ居ルノデアリマスカ

○米田委員 分リマシタ

○喜多委員 大臣ノ見エルマデノ間法制局長官ニ一ツ御許シ戴キタイ

○前田委員長 喜多君

○喜多委員 一昨日懇談ニ移ツタ時ニ、同僚中村梅吉君カラ、法律ノ建前カラ言ツテ、勅令ノ定ムル所ト云フ戰時行政特例法案ノ條項ノアノ中ノ勅令トハ、ドンナモノダト云フコトヲ申上ガタ結果、結局御分リニツテ居ルコトダケハ、私ハ懇談ノ内容トシリ分ツタノデスガ、私ハ又建前ヲ違ヘテアナタハ新シイ義務ヲ國民ニ負荷スルノデナカラ、此ノ内容ヤ品目ニ付テハ、サウ大シタ影響ガナイト云フ風ニ、私ハ正式ナ質

疑デ答辯トシテ受取ツタノデスガ、私ノ建  
前カラ行クトサウデハナイ、兎ニ角特例法  
案ノ内容ハ、大キナ戦時國家意識ヲ徹底サ  
セル爲ニ、場合ニ依ツテハ全部ヲ解除シ、  
場合ニ依ツテハ全部ヲ停止シ、場合ニ依ツ  
テハ一部ヲ解除シ、一部ヲ停止スルト云フ  
ヤウナコトハ、平時産業行政カラ眞實ナル  
戰時産業行政ニ移ル「スキッチ」ノ切替ガ、  
實ハ出テ來ルト思フ、例ヘバ新シイ義務ハ  
負荷サレナイトシテモ、一方デハ停止サレ  
テ居ナガラ、一方デハ今マデ通リノモノヲ  
背負ツテ居ルト云フ此ノ對立ハ、當然出テ  
來ルト考ヘナケレバナリマセヌ、工場法ニ  
シテモ、防空法ニ付テモアナタノ御擧ゲニ  
ナツタ條項ヲ見テモ……ソコデ今度各省ト  
モ生産増強ノ强行ヲスルト云フ場合ニハ、  
當然新タニ定ムル勅令ト同様ニ、斯ウ云フ  
モノハ止メルノダグト云フコトハ、手許ニ準  
備シテ居ナケレバ遅蒔キニナルノデスガ、  
アナタノ方カラ各省ニ付テ、特ニ各部門ノ五  
大目標ノ生産ヲ强行スルト云フ場合ニ、實  
施大臣ト云フモノガ發表スルコトヲ一ツ森  
山政府委員、アナタハ其ノ事ニ付テ當然一  
旦知ラナケレバナラヌノダグト云フコトヲ、  
御尋ネシテ置キタイノデス

○前田委員長 承知致シマシタ——松本忠雄君  
○松本(忠)委員 通俗ナコトヲ伺ツテ置キ  
タイノデスガ、大臣ニハ意味ヲ通ジテアリ  
マスカラ、御聽キ取りト思ヒマスガ、銅鐵  
ノ回収ノ問題デアリマス、是ハ五大產業ト  
關聯シテ、相當巨額ノ銅鐵回収ヲ目途サレ  
テ居ルコトハ、私共御説明ヲ承リマシタ、  
將來モ此ノ銅鐵回収ノ問題ガ起ツテ來ルダ  
ラウト思ヒマスガ、勿論政府當局ニ於テ御  
聞キ及ビノコトト思ヒマスガ、此ノ問題ヲ  
繞ツテ各階層ニハ相當ナ紛議ガ起ツテ居リ  
マス、或ハ家庭爭議ガ起ツテ居ル所モアレ  
バ、或ハ町内會ノ紛議ノ起ツテ居ル所モア  
リ、或ハ親善ナルベキ隣組ガ此ノ爲ニ紛議  
ヲ釀シテ居ル所モアル、或ハ之ニ當ル蠶賛  
壯年團ト當事者トノ間ニ、紛糾ヲ生ジテ居  
ル所モアリマス、固ヨリ今日民間ニ於テ銅  
鐵ノ回収ニ反對スル者ハ一人モナイ、唯問  
題ハ標準ガ明カデナイ、如何ナル物ヲ供出  
スベキカト云フ取扱ヒガ區々デアル、或ル  
町内ニ於テハ斯ウ云フ物ヲ供出セヨ、或ル  
町内ニ於テハソレハ要ラナイト云フヤウナ  
コトカラ起ツテ來ル、ソレカラ實際ニ見テ  
大都會ニ於テハ回収ノ強制ト云フカ、ヤリ  
方ガ比較的緩慢デアル、是ガ小サナ山村ニ  
入レバ入ル程強化サレテ居ル、モウ一ツハ後  
ニナレバナル程條件ガ緩和シテ來ルヤウナ  
嫌ヒガアル、例ヘバ兩極ヲ外スト云フヤウ  
民間ニ對シテハヤカマシイ、モウ一ツハ後  
ニフコトデアツカガ、最近ノ取扱ヒニ於テ

ハ、廢品ヲ回収ナル當局ノ係リノ方カラ行ツテ、回収ヲシテ下サルト云フヤウナコトニモナツテ居ルヤニ承ツテ居リマス、斯ウ云フコトヘ勿論區々タルコトデゴザイマシテ、商工省ノ高位高官ノ方ノ御承知デナイコトカトモ存ジマスケレドモ、市民ノ側カラ見レバ、ハツキリ標準ヲ示シテ戴イマテ、此ノ爲ニ徒ラノ紛擾ヲ生ジナイヤウニシテ戴キタイ、吾々ハ之ニ對スル標準ヲ示シテ戴キタイト云フコトヲ、先般大臣ニ御願ヒシタノデスガ、此處デ即答ガ願ヘレバ結構、若シ願ヘナケレバ此ノ委員會ニ於テ一つハツキリ標準ヲ示シテ、民間ヲシテ據リ所ヲ知ラシメルヤウニシテ戴キタイト者ヘテ居マリス

メルカト云フコトガ、是亦非常ニ困難ナ問題デアリマス、例ヘバ由緒ノアル記念品ハ出サナイデモ宜イ、或ヘ又美術品ナドハ決シテ期待シテ居ルモノデハナイ、ソレカラ生活必需品ノ器具等ニ付テハ是ハ勿論御出シモ、ドノ程度ノモノガ美術品デアルカナイカ、ソレカラ由緒ノアル記念品ナンカモ一寸判断ニ迷フ、斯ウ云ツヤウナコトデ、町内會等ニ於キマシテモ、判断ノ仕方ガ區區ニナリマシテ、隨テ色々ナ紛議ヲ生ジテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、併シ此ノ點ニ付テハ各方面カラ色々ナ御意見ヲ承ツテ居リマスノデ、是等ニ關スル行過ギノナイヤウニ、又誤解等ノナイヤウニ、逐次注意シテ其ノ徹底方ヲ圖ツテ居リマス、尙ホ斯ウ云ツタヤウナコトハ、結局國民ノ精神ト申シマスカ、氣持ノ問題デアリマシテ、之ヲ角目立テテ詮議ヲシ始メタラ中々切リガナ、斯ウ思ヒマシテ、根柢ノ精神運動ト云ツタヤウナコトニ付キマシテモ、大政糾賛會等ヲ通ジテ、是亦怠リナク實施實踐シテ居ルヤウナ次第デアリマス。

尙ホ最後ニ家庭ヲ對象トスル銅鐵ノ回收

ヘ、大體本年度ヲ以て鳩ヲ付ケタイト思ツ

テ居リマス、銅鐵ノ回收ハ多々益辨ズデアリマシテ、去年ヨリモ本年、來年ニ於キマシテハ相當大規模ナ回收ヲナスペキデア

ルト考ヘテ居リマスガ、家庭ヲ對象トスル回收ハ大體一循シタ、斯ウ考ヘテ居リマス、

大量ノ回收ハ寧ロ遊休未働設備或ヘ其ノ他纏ツタ方面ニ對シテ强硬ニ期待シテ、サウ云フ方面ニ強ク鋒先ヲ向ケテ行ツタ方ガ、

ヨリ纏ツタ數量ヲ得テ時局ノ要求ニ適フモ

ノデアル、家庭ノ方ハ大體一循シタ、斯ウ辯ニ依ツテ、大變事態ガ判明シタト思ヒマス、第一ニ家庭ニ對シテハ任意ノ供出デヤルト云フコトハ、十七年度テ打切りタイト云フコトガハツキリシタコトダケデモ、民間ノ人ニ非常ニ好イ結果ヲ與ヘルト思ヒスガ、然ラバ最近ニ各家庭ニ於テ銅鐵ヲ保有シテ居ルモノノ届出ヲナサシメテ居ルノ

デアリマスガ、是モ商工當局ノ御存ジナイコトデ、或ハ戰時活用物資協會ノオヤリニナツタコトカドウカ知リマセヌケレドモ、之ヲ廻ツテ現ニ問題ガ起キテ居ルノデアリマシテ、商工次官ノ御家庭ナンカドウカ知リマセヌガ、吾々ノ貧シキ家庭デハ鍋ヲ幾ツ出スノカ、風呂釜マデ出スノカト云コトガ問題ニナツテ居ルノデ、實ハ私共ハ人カラ何カサウ云フコトヲ知ツテ居ヤシナイカトヨク聞カレルノデアリマスガ、聞カレル度毎ニ隨分危惧ノ念ヲ持ツノデアリマスガ、何カサウ云フコトガ御分リニナツテ居ルコトガアリマシタラ、序デニ御知ラセヲ戴キタイト思ヒマス。

○椎名政府委員 政府カラ別ニ届出等ヲヤウニト云フ指示ハ致シテ居リマセヌ、何カ行違ヒガアルカモ知レマセヌカラ、能ク調べテ見マス

○松本(忠)委員 有難ウゴザイマシタ、ソコラドウカ一ツ當局ノ方ニ御含ミヲ戴キタ

イノデアリマシテ、例ヘバ家庭ニ對スル銅鐵ノ回收ハ、政府トシテハ任意ダト云フガ、更ニ實際ヲ見マスト任意デハ濟マナイデ、強制以上ノ強制ニナツテ居ルノデアリマス、

ノデアル、家庭ノ方ハ大體一循シタ、斯ウ

考ヘマシテ十八年度ハ打切りタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ノデアルカノヤウナ取扱ヒマデ受ケサウデ、

政府ガサウ云フ思召デアレバ、之ニ依ツテ

ノデアツテ、ソレヲシナケレバ何カ非國民

云フコトハ、十七年度テ打切りタイト

云フコトガハツキリシタコトダケデモ、民間

ノ人ニ非常ニ好イ結果ヲ與ヘルト思ヒ

スガ、ドウカ一ツ御調ベヲ戴キマシテ、

サウ云フコトノ行違ヒノナイヤウニ、國民

ニ知ラセテ戴キタイト思ヒマス、私ノ質問

ハ是デ終リマス

○前田委員長 次ニ中西君

○中西委員 企業整備ノ關係ニ於キマシテ

一、二點御伺ヒシタイト思ヒマス、時局ノ要請ニ應ジマシテ、從來着々企業整備ガ行

ヘレテ居ル、一部ハ既ニ完了シ又ハ完了ニ

近イモノモ、相當アルヤウニ思ヒマスガ、戰

争ノ段階ニ伴ヒマシテ超重點ト云フカ、生

産擴充ガ計畫セラレルヤウニナリマシテ、

一般產業界ニ對シマシテ、各方面カラ極度ニ

壓縮ヲ見ルヤウナ狀態ニナツテ居ルヤウデ

アリマス、ソコデ政府ハ整理スベキ企業ニ

對シマシテ更ニ又第二次、第三次的ノ整備

ノ指定ガサレルモノデアルカドウカ、又は

等ニ對シテドウ云フ取扱ニナツテ居ルカ、

次官カラ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○椎名政府委員 戰爭經濟ガ段々進展致シ

マシテ、輸送ノ不足或ヘソレニ伴フ各般

ノ軍需資材ノ配給難ト云フモノニ伴ツテ、

大中小トナリ企業ノ運營ガ著シク重壓ヲ蒙

テ居ル、而モ其ノ間ニ於テ今日ノ戰時經

濟ニ最モ關係ノアル重點產業ニ對シマシテ

ハ、益々擴充ヲシ、是ガ運行ヲ促進擴大シ

テ居ル、而モ其ノ間ニ於テ今日ノ戰時經

濟ニ最モ關係ノアル重點產業ニ對シマシテ

備ト共ニサウ云フコトモ、此ノ法案ニ基イテ出來ルコトヲ想定サレテ居ルノデアリマスカ、其ノ點ヲ御伺ヒシマス。

○椎名政府委員 一寸御質問ノ要旨ヲ捕捉スルコトガ出來兼ネマスノデ、或ハ見當違ヒナコトヲ申上ゲルカモノ知レマセヌガ、此ノ特例法案ト企業整備ノ問題ハ、直接法理的ニハ別ニ關係ヲ持ツテ居ラスト思ヒマス、唯私が先程カラ申上ダマシタノハ、戰時經濟ノ進展ニ伴ツテ輸送、資材其ノ他生産各要素ノ關係ガ非常ニ窮屈ニナル、隨テ從來共ニ行ツテ參リマシタ企業整備ノ方向ハ、翁爺、ヤラザルヲ得ナイ、斯ウ云ツタヤウナ状況ヲ申上ダタノデアリマス。

○中原委員 其ノ點ハ分リマシタ、私ノ聽ク所ハソレニ關聯ガアルヤウニ存ズルノデアリマス、企業整備ハ一般デナクテ、此ノ超重點のノ五大產業ニ對シテモ、尙ホ强行サレル、斯ウ云フ風ニ聞イテハ惡イノデアリマスカ。

○椎名政府委員 五大產業ニ付テモ、其ノ產業部門ノ内部ニ於キマシテモ、高能率ノモノニ集中シ、非能率ノモノヲ場合ニ依ツ

テハ閉鎖スルトカ、整理スルトカ云フコトガ行ハレテ一向差支ヘナイト思ヒマス、唯併シ産業全體ヲ能率非能率ニ拘ラズ、之ヲ「フル」ニ動カサナケレバ數量ガ間ニ合ハナ

テ、一向差支ヘナイト思ヒマス、只今椎名次官ノ御話ガゴザイ

○中西委員 只今椎名次官ノ御話ガゴザイマシタガ、今明年ハ決戰ダト云フ非常ナ時期デアルト存ズルノデアリマスガ、此ノ企業整備ト云フモノハ、要スルニ施設及ビ勞

務等ヲ、此ノ戰爭目的ニ急速ニ即應セシメルヤウニ考ヘラケレバナラヌ問題デア

ルト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト、

中小工業者ノミナラズ、大企業者ニ致シマ

シテモ、全般ノ企業整備ハ、成ベク急速ニ

解決致スベキモノデハナイカ、相當將來ノ

情勢ヲ見透シテ、徹底シタ對策ヲ講ゼラ

ル必要ガアルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、尙又之ニ關シマシテハ、商工省

關係、或ハ農林省關係其ノ他ノ各關係ノ違ツ

タ向モアリマスガ、是ハ同一歩調ニ進メラ

レ、成ベク早イ機會ニ解決シテ、經濟界ノ

安定ヲ圖ラシメルコトガ、最モ緊要デアル

ト考ヘル次第アリマスガ、如何デゴザイマスカ。

○椎名政府委員 十八年度以降ノ狀況ニ對處スル企業整備ノ問題ニ付テハ、各般ノ事

情ヲ見透シ、又ソレニ對應スル各般ノ施策ヲ廣汎ニ立テ行カナケレバナラスト考ヘ

テ居リマス、只今折角政府ニ於テ研究シテ居ル譯デアリマス、尙ホ企業整備ノ問題ハ、

獨リ商工省ノ問題デハアリマセヌ、各省ニ

關係シテ居ル問題デアリマス、斯様ナコト

ハ國家全般ノ問題デアリマシテ、各省所管

所管ニ依ツテ其ノ步調ハ絶對ニ異ニスペ

キモノデハナイ、斯様ニ考ヘルノデアリマ

スカ、全ク私共ハ此ノ事業ニ當リマシテ

ハ和平ノ復活時ナドヲ考ヘルベキデハアリ

マセヌガ、是ハ現ニ軍需生産業ニ從事シテ

居ル者ニ於テ、左様ナ氣持デナケレバナラ

ナイコトハ勿論デアリマスガ、是カラ轉廢

業スル、是カラ一大壓縮ヲヤラウト云フヤ

スケレドモ、サウデナイ場合ニハ、ヤハリ

其ノ中ニモ高能率集中ト云フコトガ行ハレ

テ、一向差支ヘナイト思ヒマス、

○中西委員 小賣業ノ整備ニ當リマシテハ、

小賣業整備要綱ニ、職業ノ轉換ヲナシタ者

ガ、從前ノ企業ニ一應復歸スル場合ニ於キ

シテ、其ノ企業ヲ新規開業ヲ認メ得ル事

情ニアル時ハ、是ガ許可ニ付テ優先的ニ考

慮スル、斯ウ云フコトデアリマシタ、尙又

其ノ當時ノ情報局ノ發表ニ於キマシテモ、

將來企業ノ新規開業ヲ認メル情勢ニ立チ至

レル場合ハ、轉廢業者ノ優先復歸ヲ認タル

等、萬全ノ措置ヲ講ズルコトナツテ居ル、

斯ウ云フヤウナ聲明ガ出テ居ルノデゴザイ

マスガ、獨リ小賣業ノミナラズ、大企業ノ

整備ニ當リマシテモ、是ガ轉廢ヲシ又ハ一

大壓縮ヲ見ルト云フヤウナモノガ相當アル

ノデゴザイマシテ、一應是等ノ企業ノ轉換

或ハ壓縮致シマシテモ、更ニ其ノ同一企業

ノ規模ノ擴充ヲ要スルヤウナ場合ニ於キマ

シテハ、此ノ小賣業整備要綱ノ趣旨ト同ジ

ヤウナ趣旨ニ於キマシテ、優先的ニ復活又

ハ擴張ヲ認メルコトガ出来ルモノノデアルカ

ドウカト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデア

リマス、軍需生産業者ガ平和ノ時ヲ顧慮シ

テ、當該企業ニ思ヒ切ツテ突込シダ仕事ガ

出来ナイ、遂巡シテ居ル向キモアル、斯ウ

云フヤウナ關係上、平時產業ノ復活思想ナ

ドト云フモノハ、此ノ際斷然拂拭シナケレ

バナラナイト云フヤウナ政府ノ御説デアリ

マスガ、全ク私共ハ此ノ事業ニ當リマシテ

ハ和平ノ復活時ナドヲ考ヘルベキデハアリ

マセヌガ、是ハ現ニ軍需生産業ニ從事シテ

居ル者ニ於テ、左様ナ氣持デナケレバナラ

ナイコトハ勿論デアリマスガ、是カラ轉廢

業スル、是カラ一大壓縮ヲヤラウト云フヤ

スケレドモ、サウデナイ場合ニハ、ヤハリ

其ノ中ニモ高能率集中ト云フコトガ行ハレ

テ、一向差支ヘナイト思ヒマス、

○中西委員 只今椎名次官ノ御話ガゴザイ

マシタガ、今明年ハ決戰ダト云フ非常ナ時

期デアルト存ズルノデアリマスガ、此ノ企

業整備ト云フモノハ、要スルニ施設及ビ勞

務等ヲ、此ノ戰爭目的ニ急速ニ即應セシメ

ルヤウニ考ヘラケレバナラヌ問題デア

ルト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト、

ビナコトヲ申上ゲルカモノ知レマセヌガ、此

ノ特例法案ト企業整備ノ問題ハ、直接法理

的ニハ別ニ關係ヲ持ツテ居ラスト思ヒマス、

唯私が先程カラ申上ダマシタノハ、戰時經

濟ノ進展ニ伴ツテ輸送、資材其ノ他生産各

要素ノ關係ガ非常ニ窮屈ニナル、隨テ從

來共ニ行ツテ參リマシタ企業整備ノ方向ハ、

翁爺、ヤラザルヲ得ナイ、斯ウ云ツタヤウナ狀況ヲ申上ダタノデアリマス。

○中原委員 其ノ點ハ分リマシタ、私ノ聽

ク所ハソレニ關聯ガアルヤウニ存ズルノデ

アリマス、企業整備ハ一般デナクテ、此ノ

超重點のノ五大產業ニ對シテモ、尙ホ强行

サレル、斯ウ云フ風ニ聞イテハ惡イノデア

リマスカ。

○椎名政府委員 五大產業ニ付テモ、其ノ

產業部門ノ内部ニ於キマシテモ、高能率ノ

モノニ集中シ、非能率ノモノヲ場合ニ依ツ

テハ閉鎖スルトカ、整理スルトカ云フコト

ガ行ハレテ一向差支ヘナイト思ヒマス、唯

併シ産業全體ヲ能率非能率ニ拘ラズ、之ヲ

「フル」ニ動カサナケレバ數量ガ間ニ合ハナ

テ、一向差支ヘナイト思ヒマス、

○中西委員 只今椎名次官ノ御話ガゴザイ

マシタガ、今明年ハ決戰ダト云フ非常ナ時

期デアルト存ズルノデアリマスガ、此ノ企

業整備ト云フモノハ、要スルニ施設及ビ勞

務等ヲ、此ノ戰爭目的ニ急速ニ即應セシメ

ルヤウニ考ヘラケレバナラヌ問題デア

ルト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト、

ビナコトヲ申上ゲルカモノ知レマセヌガ、此

ノ特例法案ト企業整備ノ問題ハ、直接法理

的ニハ別ニ關係ヲ持ツテ居ラスト思ヒマス、

唯私が先程カラ申上ダマシタノハ、戰時經

濟ノ進展ニ伴ツテ輸送、資材其ノ他生産各

要素ノ關係ガ非常ニ窮屈ニナル、隨テ從

來共ニ行ツテ參リマシタ企業整備ノ方向ハ、

翁爺、ヤラザルヲ得ナイ、斯ウ云ツタヤウナ狀況ヲ申上ダタノデアリマス。

○中原委員 其ノ點ハ分リマシタ、私ノ聽

ク所ハソレニ關聯ガアルヤウニ存ズルノデ

アリマス、企業整備ハ一般デナクテ、此ノ

超重點のノ五大產業ニ對シテモ、尙ホ强行

サレル、斯ウ云フ風ニ聞イテハ惡イノデア

リマスカ。

○椎名政府委員 五大產業ニ付テモ、其ノ

產業部門ノ内部ニ於キマシテモ、高能率ノ

モノニ集中シ、非能率ノモノヲ場合ニ依ツ

テハ閉鎖スルトカ、整理スルトカ云フコト

ガ行ハレテ一向差支ヘナイト思ヒマス、唯

併シ産業全體ヲ能率非能率ニ拘ラズ、之ヲ

「フル」ニ動カサナケレバ數量ガ間ニ合ハナ

テ、一向差支ヘナイト思ヒマス、

○中西委員 只今椎名次官ノ御話ガゴザイ

マシタガ、從前ノ企業ニ一應復歸スル場合ニ於キ

シテ、其ノ企業ヲ新規開業ヲ認メ得ル事

情ニアル時ハ、是ガ許可ニ付テ優先的ニ考

慮スル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、優先的ニ許

ヘルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ、如何ナル解釋ヲ致シタラ宣シイモノカ、御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

シノ通リデアリマス、是ガ唯斯様ナモノダ

ケデナシニ、今日ニ於テハ大企業ニ於テモ、

ラップニナリ、一部ハ保有シテ、唯平和ガ

率ノ操短ヲシナケレバナラスト云フ状況ニ

ナツテ居ル、其ノ一部ハ或ヘ廢棄シテ「スク

ラップ」ニナリ、一部ハ保有シテ、唯平和ガ

率ノ操短ヲシ

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

午後二時四十分開議

○前田委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス——中西敏憲君

○中西委員 簡單ナコトデアリマスガ、民間ノ知識經驗ヲ活用スルト云フコトニ關聯シマシテ、一、二伺ヒタイト思フノデアリマス、従来民間ノ知識經驗ヲ活カシテ使ハネバナラスト云フコトヘ、總理大臣初メ各閣僚モ屢々口ニセラレル所デアリマスガ、眞ニ此ノ意思デアルト致シマスレバ、今回ノ此ノ超重點產業ノ擴充ニ當リマシテモ、民間ノ特ニ信賴スペキ者ヲ擧ゲテ之ニ全權ヲ任せ、其ノ全能力ヲ擧ゲテ、本案ガ目指ス所ノ超重點主義ノ生産擴充ニ當ラシメルコトガ、最モ有效適切ナ方法デアラウト實ハ考ヘル次第デアリマス、其ノ民間ノ所謂全權負荷者トデモ申シマスカ、サウ云フ者ヲ決定致シマシテ、是ガ首相ノ指揮ヲ受ケテ、

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○岸國務大臣 今回提案サレテ居リマスル法案成立ノ曉ニ於テ、之ヲ動カシテ行キマスハ必ズシモ必要ナイノデハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、法律ヲ讀ンデ感ジマスコトハ、率直ニ申シマスレバ、マダ官ガ生産擴充ニ當ツテ居ル、官ノ力デ生産擴充ヲヤルト云フヤウナ感ジガ、非常ニ濃厚ニアルノデアリマス、寧ロ民間ノ信用スペキ者ニ全面的ニ任シテヤルト云フコトガ非常ニ效果的デアルト實ハ考ヘル次第デアリマス、若シサウ云フ場合ニハ、首相直屬デアリマスカラ、首相ノ所ニ必要アレバ少數ノ政府部内又ハ部外カラ幕僚ガ選バレバソレデ足ルノデアリマシテ、機構ライジルト云フヤウナコトニハ何等觸レナイ、又官廳内部ノ職權ノ一部ヲ移動サセルトカ、或ハ機構ヲ移動サセルトカ云フヤウナ面倒モナシニ濟ムノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ特殊ノ民間人ニ全權ヲ受託サセルヤウナ方針デ行クノガ最モ簡明ニ行クト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトガ一點デアリマス、尙ホサウ云フ擧ニ出ナイデ、ヨコニ色々ト規定サレ居リマスガ、此ノ認可許可等臨時措置法案等ニ依リマシテモ、此ノ趣旨ノ達成ニ付

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○岸國務大臣 今回提案サレテ居リマスル法案成立ノ曉ニ於テ、之ヲ動カシテ行キマスハ必ズシモ必要ナイノデハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、法律ヲ讀ンデ感ジマスコトハ、率直ニ申シマスレバ、マダ官ガ生産擴充ニ當ツテ居ル、官ノ力デ生産擴充ヲヤルト云フヤウナ感ジガ、非常ニ濃厚ニアルノデアリマス、寧ロ民間ノ信用スペキ者ニ全面的ニ任シテヤルト云フコトガ非常ニ效果的デアルト實ハ考ヘル次第デアリマス、若シサウ云フ場合ニハ、首相直屬デアリマスカラ、首相ノ所ニ必要アレバ少數ノ政府部内又ハ部外カラ幕僚ガ選バレバソレデ足ルノデアリマシテ、機構ライジルト云フヤウナコトニハ何等觸レナイ、又官廳内部ノ職權ノ一部ヲ移動サセルトカ、或ハ機構ヲ移動サセルトカ云フヤウナ面倒モナシニ濟ムノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ特殊ノ民間人ニ全權ヲ受託サセルヤウナ方針デ行クノガ最モ簡明ニ行クト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトガ一點デアリマス、尙ホサウ云フ擧ニ出ナイデ、ヨコニ色々ト規定サレ居リマスガ、此ノ認可許可等臨時措置法案等ニ依リマシテモ、此ノ趣旨ノ達成ニ付

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○岸國務大臣 今回提案サレテ居リマスル法案成立ノ曉ニ於テ、之ヲ動カシテ行キマスハ必ズシモ必要ナイノデハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、法律ヲ讀ンデ感ジマスコトハ、率直ニ申シマスレバ、マダ官ガ生産擴充ニ當ツテ居ル、官ノ力デ生産擴充ヲヤルト云フヤウナ感ジガ、非常ニ濃厚ニアルノデアリマス、寧ロ民間ノ信用スペキ者ニ全面的ニ任シテヤルト云フコトガ非常ニ效果的デアルト實ハ考ヘル次第デアリマス、若シサウ云フ場合ニハ、首相直屬デアリマスカラ、首相ノ所ニ必要アレバ少數ノ政府部内又ハ部外カラ幕僚ガ選バレバソレデ足ルノデアリマシテ、機構ライジルト云フヤウナコトニハ何等觸レナイ、又官廳内部ノ職權ノ一部ヲ移動サセルトカ、或ハ機構ヲ移動サセルトカ云フヤウナ面倒モナシニ濟ムノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ特殊ノ民間人ニ全權ヲ受託サセルヤウナ方針デ行クノガ最モ簡明ニ行クト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトガ一點デアリマス、尙ホサウ云フ擧ニ出ナイデ、ヨコニ色々ト規定サレ居リマスガ、此ノ認可許可等臨時措置法案等ニ依リマシテモ、此ノ趣旨ノ達成ニ付

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○岸國務大臣 今回提案サレテ居リマスル法案成立ノ曉ニ於テ、之ヲ動カシテ行キマスハ必ズシモ必要ナイノデハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、法律ヲ讀ンデ感ジマスコトハ、率直ニ申シマスレバ、マダ官ガ生産擴充ニ當ツテ居ル、官ノ力デ生産擴充ヲヤルト云フヤウナ感ジガ、非常ニ濃厚ニアルノデアリマス、寧ロ民間ノ信用スペキ者ニ全面的ニ任シテヤルト云フコトガ非常ニ效果的デアルト實ハ考ヘル次第デアリマス、若シサウ云フ場合ニハ、首相直屬デアリマスカラ、首相ノ所ニ必要アレバ少數ノ政府部内又ハ部外カラ幕僚ガ選バレバソレデ足ルノデアリマシテ、機構ライジルト云フヤウナコトニハ何等觸レナイ、又官廳内部ノ職權ノ一部ヲ移動サセルトカ、或ハ機構ヲ移動サセルトカ云フヤウナ面倒モナシニ濟ムノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ特殊ノ民間人ニ全權ヲ受託サセルヤウナ方針デ行クノガ最モ簡明ニ行クト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトガ一點デアリマス、尙ホサウ云フ擧ニ出ナイデ、ヨコニ色々ト規定サレ居リマスガ、此ノ認可許可等臨時措置法案等ニ依リマシテモ、此ノ趣旨ノ達成ニ付

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○岸國務大臣 今回提案サレテ居リマスル法案成立ノ曉ニ於テ、之ヲ動カシテ行キマスハ必ズシモ必要ナイノデハナイダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、法律ヲ讀ンデ感ジマスコトハ、率直ニ申シマスレバ、マダ官ガ生産擴充ニ當ツテ居ル、官ノ力デ生産擴充ヲヤルト云フヤウナ感ジガ、非常ニ濃厚ニアルノデアリマス、寧ロ民間ノ信用スペキ者ニ全面的ニ任シテヤルト云フコトガ非常ニ效果的デアルト實ハ考ヘル次第デアリマス、若シサウ云フ場合ニハ、首相直屬デアリマスカラ、首相ノ所ニ必要アレバ少數ノ政府部内又ハ部外カラ幕僚ガ選バレバソレデ足ルノデアリマシテ、機構ライジルト云フヤウナコトニハ何等觸レナイ、又官廳内部ノ職權ノ一部ヲ移動サセルトカ、或ハ機構ヲ移動サセルトカ云フヤウナ面倒モナシニ濟ムノデハナイカト考ヘルノデアリマス、サウ云フ趣旨デ特殊ノ民間人ニ全權ヲ受託サセルヤウナ方針デ行クノガ最モ簡明ニ行クト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テドウ云フ風ニ御考ヘニナルカト云フコトガ一點デアリマス、尙ホサウ云フ擧ニ出ナイデ、ヨコニ色々ト規定サレ居リマスガ、此ノ認可許可等臨時措置法案等ニ依リマシテモ、此ノ趣旨ノ達成ニ付

○前田委員長 外ニ次官ニ對シテ質問ハゴ  
ザイマセヌカ

○水谷委員 若シ大臣ガ御見エニナラナケレバ、大臣ガ來ラレルマデ休憩シタラドウデスカ

○前田委員長 今大臣ヲ探シニ行ツテ居リマスガ、ソレデハ暫時休憩致シマス

午後二時三分休憩

○中西委員 只今ノ御説明ニ依リマスト、此ノ戰時行政職權ノ特例ヲ定ムル所ノ品目ノ各種ノ生産ノ遂行ハ、主トシテ統制會ヲ活用サセルト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ聞エマスガ、サウデアリマスカ

○岸國務大臣 實際ノ活用ト致シマシテハ、ソコニ非常ナ重點ヲ置イテ運用シテ行キタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○中西委員 統制會ニ對シマシテハ、相當大キナ權限ノ委讓ト云フコトヲ計畫サレテ居ルヤウニ見エルノデゴザイマスガ、其ノ委讓サレタ權限デハ、マダ是ハ達セラレナイ、斯ウ云フ御考ヘカト存ジマスガ、此ノ統制會ニ委讓シタ權限以外ニ、更ニ認メナケレバナラナイ事項ト云フモノハ、ドウ云フ風ナモノヲ御考ヘニナツテ居ルノカ、若シ伺フコトガ出來レバ承リタイト思ヒマス

○岸國務大臣 統制會ニ委讓スルト云フコトハ、第一次ノ委讓ト致シマシテハ、主トシテ資材ノ配給統制ニ關スル一聯ノモノハ、二月一日カラ相當廣範圍ニ亘ツテ權限ノ委讓が行ハレテ居リマス、又勞務ノ管理ニ關シテノ委讓ニ付テモ、主務省ニ於テ研究ヲ致シテ居リマス、尙ほ資金ノ部面等ニ於キマシテモ、今後委讓ノ問題ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、具體的ノ個々ノ問題ハ、現在マダ統制會自體ノ組織、内部業ノ生産増強ニ邁進ヲ致シマシテモ、委讓シタモノヲ完全ニ遂行シ得ルダケノ實力ヲ具ヘテ居ラナイ部面モアリマスノデ、統制會ノ育成強化ト睨合ハセナガラ、又此ノ後超重點產業ノ生産増強ニ邁進ヲ致シマシテモ、其ノ實績ニ顧ミテ、個々ノ問題ニ付キマシテハ、尙ホ研究スル部面ガアルト思ヒマスガ、今日ノ所ニ於キマシテハ、特ニ勞務、資金等ノ

面ニ於キマシテ、統制會ニ今後相當廣範圍ニ委讓ヲシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

○中西委員 統制會ニ委讓スル權限ハ、既ニ御研究ニナツテ居ルコト存ジマスルガ、ソレ以上ニ特ニ五種品目、鐵鋼、石炭、輕金屬等ノ强行生産ニ當ツテ認メナケレバナラナイ權限ハ、ドウ云フ風ナモノデアルカト云フコトヲ、實ハ伺ヒタイト思フノデアリマス

○岸國務大臣 此ノ戰時行政特例ニ關スル法律ニ基キマシテ、所謂各廳ノ權限ヲ、勞務、資材、資金、勞力ニ關スル限リニ於キマシテ、之ヲ總理大臣自ら行ヒ、又ハ各省大臣ヲシテ行ハシメル、或ル一箇所ニ兎ニ角集中シテヤルト云フ——具體的ニドノ權限ヲドノ範圍ニ於テ、ドノ大臣ニ集メテ行クカト云フヤウナ問題ニ付キマシテハ、是ハ總理大臣ガ命ヲ承ケテ決定セラレル譯デアリマシテ、今日政府部内ト致シマシテハ、色々ナ研究モアリマスガ、個々ニマダ具體的ニドノ權限ヲドウスルノダト云フコトヲ申上ゲルコトハ、適當トルダケノ狀態ニ立至ツテ居ラナイノデアリマス、大體ノ基準ニ付キマシテハ、法制局長官等ヨリ御詫シタコト思ヒマスガ、ソレ以上具體的ノ事柄ハ、政府トシテ十分研究ヲ致シテ居ルト云フコトニ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○中西委員 此ノ問題ヘはダケニ致シマシテ、次ニ民間ノ知識經驗ノ活用ノ一ツ致シマシテ伺ツテ置キタイト思ヒマスコトハ、從來モ問題ニナツテ居リマスガ、文官任用令ノ範圍ノ擴大ト云フ問題デゴザイマス、民間ノ知識經驗ヲ積極的ニ動員スルト云フ趣旨ヲ徹底致シマスレバ、其ノ一番近道ハ

文官任用令ノ思切ツタ改正デアリマシテ、官ト云ハズ、民ト云ハズ、最適任者ヲ最適任の場所ニ置カレルト云フコトガ、非常ニ必要デナリカト、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘル次第デアリマス、斯クシテ初メテ全國民ガ一體トナツテ、時局ノ乘切りガ出來ルデアリマス

○岸國務大臣 此ノ戰時行政特例ニ關スル法律ニ基キマシテ、所謂各廳ノ權限ヲ、勞務、資材、資金、勞力ニ關スル限リニ於キマシテモ、ドン／＼昇進ノ出來ルヤウニスルコトガ必要デアルト同時ニ、又官ノ者ヲ、所謂天降リガイカヌトカ何トカ云フ議論モアリマスガ、私トシマシテハ、官ノ人モドン／＼出テ此ノ大事ナ仕事ニ當ル、サウシテ天降リモナケレバ何モナイ、一體トナツテ仕事スルト云フコトガ、一番此ノ時局ニ於テ必要ナコトデナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テドウ云フ風ナ御考ヘヲ持ツテ居ラレルカ、承リタイト存ジマス、是ハ總理大臣ニ承上ゲルコトハ、適當トルダケノ狀態ニ立至ツテ居ラナイノデアリマス、大體ノ基準ニ付キマシテハ、法制局長官等ヨリ御詫シタコト思ヒマスガ、ソレ以上具體的ノ事柄ハ、政府トシテ十分研究ヲ致シテ居ルト云フコトニ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○岸國務大臣 從來此ノ文官任用ノ制度ヲ擴ゲテ、一般ヨリ知識經驗ノアル立派ナ人ヲ、廣く任用出來ル途ヲ開クベキデアルト云フ議論ハ、隨分長ク各方面デ論議サレマシテ、從來モ問題ニナツテ居リマスガ、文官任用令ノ範圍ノ擴大ト云フ問題デゴザイマス、研究致シマシテ、今日ニ於テハ相當廣範圍ニ、所謂資格任用以外ニ、廣イ詮衡任用ノ

其ノ他ノ機構ノ首脳部ト致シマシテ、役人ノ中カラ行クト云フコトモ、私ハ決シテ惡イコトデハナイ、又其ノ必要ガアリ、實際ニヤツテ其ノ運用ガ旨ク行ツテ居ルト云フヤウナ實例モ少クナイト思フ、特ニ私ノ方ニ於キマシテハ、統制會ノ仕事自體ノ重要性ト、又之ニ相當廣範圍ノ權限ヲ移讓シテ、而モ官廳ト一體ノ關係ニ於テ、完全ナ運用ガ出來ルト云フコトヲ期シテ行キマス爲ニハ、相當密接ナ人的ノ連絡ヲスル必要ガアルノデアリマス、各統制會ノ會長等ヨリモ、是等ノ統制會ヲ運用スル上ニ於テ、商工省ノ相當有力ナ人ヲ是非寄越シテ貰ヒタイト云フヤウナ熱望モアルノデアリマス、私共ハ一面其ノ弊害ヲ生ゼナイヤウニ、一面ニ於テハ十分ニ其ノ長所ヲ發揮出來ルヤウニト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、或ル程度ノ人事ノ交流ト云フコトモ、統制會ト商工省ノ部内トノ間ニハ行ツテ居ルノデアリマシテ、又是ハ將來ニ於テモ必要デアル、統制會ノ相當有能ナ人ヲ工務官其ノ他ニ任用スル、又逆ニ商工省ノ役人ノ中ノ相當優秀ナ者ヲ統制會ノ幹部、若シクハ課長等ノ所ニ入レテ行ク、又是等ハ何年カ後ニ於テハ歸ツテ來ルコトヲ條件トシテ出テ行クト云フコトモ、要スルニ兩者ノ緊密一體化、又表裏一體トシテ動ク爲ニハ必要デアラウ、斯ウ考ヘテ居リマシテ、一部分ニ於テハサウ云フ人事ノ交流モ、現在行ツテ居ルヤウナ狀況デアリマス

デヤウテ貰ハナケレバナラヌ、隨テ思ヒ切  
タツ改正ヲ研究セラレタイト云フ考ヘヲ持  
ツテ居リマス、同時ニ役所ノ方カラモ、眞  
ニ有爲ノ人材ナラバ遠慮ナクドンヽ出テ、  
必要ナ地位ニ就カレルト云フコトモ當然ノ  
コトデアリマス、唯其ノ器ニアラザル者ヲ、  
其ノ所ニ据エルト云フコトガ非難サレル因  
デアラウト思フノデアリマシテ、私ハ官モ  
民モ共ニ門戸ヲ開イテ、官民一體ニナツテ  
此ノ際進ムベキデアルト云フコトヲ申上ゲ  
テ、私ノ質問ヲ終リマス

手モモ士モ出ナイ、ノミナラズ能率ヲ擧ガタナ  
者ニハ賃金ヲ上げテヤラウトシテモ、賃金  
ノ統制令デ思フヤウニ上げテヤレナイ、  
又非能率工場ノ方へ止メテ、能率工場ノ方  
ニ任セヨウトスレバ、ヤハリソコニ色々ナ  
統制ノ妨ガガアツテ、非能率工場ヲ止メルコト  
ガ出来ヌト云フヤウナコトデ、統制法ノ根  
據ニツノ「メス」ヲ入レナケレバ、ヤハリ  
生産力ノ擴充ガ出来ヌヤウニ、私共素人ニ  
ハ思ヘレル、行政ノ簡素化ト同時ニ、產業  
統制法規ノ簡素化ヲ圖ツテ、民間人ニ十分  
手腕ヲ揮ハセルト云フコトマデ行ツテ貴ハ  
ナイト、本當ノ生産力ノ增强ト云フモノハ、  
イカヌト思ヒマスルガ、其ノ點ハドウ云フ  
風ニ御考ヘニナリマスカ、商工大臣ニ御抱  
ナイト、負ガアリマシタナラバ伺ヒタイ  
○岸國務大臣 今日重要產業ノ部門ニ於キ  
マシテ、生産ガ計畫通りニ達成サレテ居ラ  
ナイ、之ヲドウシテモ生産ノ增强ヲ圖ツテ、  
ガ計畫通りニ行ツテ居ナイト云フコドニ付  
キマシテハ、色々ナ原因ガアリマシテ、其  
ノ原因等ニ付テハ企畫院總裁等カラモ、詳  
細ニ御詫ガアツタノデアリマスガ、是ハ單  
ニ業界ノ所謂士氣昂揚ノ度ガ十分デナイト  
カ、或ハ所謂勞務ノ能率ガ低下シテ居ルト  
カ、或ハ統制法規ガ複雜多岐デアツテ、其  
ノ爲ニ働ケナイカラ、斯ウ云フ事態が起ツ  
テ居ルノダ、斯ウ簡單ニハ判斷出來ナイトイ  
思フノデアリマス、一番大キナ問題ハ、兎ニ  
角今日日本トシテハ大キナ戰争ヲシテ居ル  
譯デアリマスガ、總理大臣ガ言明サレマシ  
タヤウニ、常ニ此ノ作戦ト經濟ト云フモノ  
ヲ睨ミ合セテ、或ル場合ニ於テハ作戦ニ重

可認可等ノ或ル範圍ヲ限定シテ、例ヘバ賃銀統制令ノ問題ガアリマシタガ、或ル產業ニハ賃銀統制令ノ關係ヲ、全然免除スル、君ノ所ハ幾ラデ使ツテモ宜シイト云フコトデ、假ニ非常ニ高イ賃銀デ、ドンレ人ヲ集メラレルト云フヤウナ事柄ガ、無條件ニヤレルノカト云フト、私ハ如何ニ重點產業デモサウ云フコトハ許セナイ、又許スト他ノ產業トノ非常ニ大キナ不均衡ヲ生ジテ、却テ生産増強ヲ阻害スル、唯色々ナ賃銀統制令ノ今日ノ狀況カラ、非常ヲ困難ナ重工業ノ爐前ノ作業ヲスル者ト、然ラザル者トノ間ノ賃銀ノ「バランス」ガ、果シテ適當デアルカドウドウカ、又是等ノ非常ニ重筋勞働ヲスル者ニ對スル色々ナ勞務管理ノ點ガ、他ノ一般ト同様ニ劃一的ニヤツテ適當デアルカドウスベキ點ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ關シテ、實情ニ即シタ賃銀統制令ノ運用ト云フコトハ、勿論考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマスガ、是等各種ノ規定其ノモノガ複雜デアリ、其ノ運用ガ劃一的デ、膠着シテ居ル爲ニ、一般ノ生産増強ノ阻害ニナツテ居ルト云フコトハ、是等ノ法令ニ依リマシテ、相當是正サレルコトニナルト思フノアリマス。

○中原委員 尚ホ、是ハ商工關係バカリデハアリマセヌガ、全般ノ統制カラ見マスト、結果物ガ均一化シテ來ル、統制デヤラレル爲ニ優秀ナ部分ノ方ハ勉強シナクナリ、優秀デナイ部分ヲ基礎ニシテ、統制ガ運用サレルト云フ處ガ相當アリマス、私モ田舎デアリマスガ、田舎ノ方デ見マシテモ、結局ノ所ハ幾ラデ使ツテモ宜シイト云フコトデ、假ニ非常ニ高イ賃銀デ、ドンレ人ヲ集メラレルト云フヤウナ事柄ガ、無條件ニヤレルノカト云フト、私ハ如何ニ重點產業デモサウ云フコトハ許セナイ、又許スト他ノ產業トノ非常ニ大キナ不均衡ヲ生ジテ、却テ生産増強ヲ阻害スル、唯色々ナ賃銀統制令ノ今日ノ狀況カラ、非常ヲ困難ナ重工業ノ爐前ノ作業ヲスル者ト、然ラザル者トノ間ノ賃銀ノ「バランス」ガ、果シテ適當デアルカドウドウカ、又是等ノ非常ニ重筋勞働ヲスル者ニ對スル色々ナ勞務管理ノ點ガ、他ノ一般ト同様ニ劃一的ニヤツテ適當デアルカドウスベキ點ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ關シテ、實情ニ即シタ賃銀統制令ノ運用ト云フコトハ、勿論考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマスガ、是等各種ノ規定其ノモノガ複雜デアリ、其ノ運用ガ劃一的デ、膠着シテ居ル爲ニ、一般ノ生産増強ノ阻害ニナツテ居ルト云フコトハ、是等ノ法令ニ依リマシテ、相當是正サレルコトニナルト思フノアリマス。

○岸國務大臣 統制ガ劃一ニ流レ、又今御舉ゲニナリマシタヤウニ、其ノ爲ニ品質ガ惡クナルトカ、或ハ各種ノ勞務、動力、資材等ガ區々ニ行ク爲ニ、非常ニ生産能率ヲ減退シテ居ルト云フヤウナ實例ハ、私共モ已ムヲ得ヌコトデヘアリマスガ、統制ノ結果、物ガ均一化シテ來ル、統制デヤラレル爲ニ優秀ナ部分ノ方ハ勉強シナクナリ、優秀デナイ部分ヲ基礎ニシテ、統制ガ運用サレルト云フ處ガ相當アリマス、私モ田舎デアリマスガ、田舎ノ方デ見マシテモ、結局ノ所ハ幾ラデ使ツテモ宜シイト云フコトデ、假ニ非常ニ高イ賃銀デ、ドンレ人ヲ集メラレルト云フヤウナ事柄ガ、無條件ニヤレルノカト云フト、私ハ如何ニ重點產業デモサウ云フコトハ許セナイ、又許スト他ノ產業トノ非常ニ大キナ不均衡ヲ生ジテ、却テ生産増強ヲ阻害スル、唯色々ナ賃銀統制令ノ今日ノ狀況カラ、非常ヲ困難ナ重工業ノ爐前ノ作業ヲスル者ト、然ラザル者トノ間ノ賃銀ノ「バランス」ガ、果シテ適當デアルカドウドウカ、又是等ノ非常ニ重筋勞働ヲスル者ニ對スル色々ナ勞務管理ノ點ガ、他ノ一般ト同様ニ劃一的ニヤツテ適當デアルカドウスベキ點ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ關シテ、實情ニ即シタ賃銀統制令ノ運用ト云フコトハ、勿論考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマスガ、是等各種ノ規定其ノモノガ複雜デアリ、其ノ運用ガ劃一的デ、膠着シテ居ル爲ニ、一般ノ生産増強ノ阻害ニナツテ居ルト云フコトハ、是等ノ法令ニ依リマシテ、相當是正サレルコトニナルト思フノアリマス。

○岸國務大臣 統制ガ劃一ニ流レ、又今御舉ゲニナリマシタヤウニ、其ノ爲ニ品質ガ惡クナルトカ、或ハ各種ノ勞務、動力、資材等ガ區々ニ行ク爲ニ、非常ニ生産能率ヲ減退シテ居ルト云フヤウナ實例ハ、私共モ已ムヲ得ヌコトデヘアリマスガ、統制ノ結果、物ガ均一化シテ來ル、統制デヤラレル爲ニ優秀ナ部分ノ方ハ勉強シナクナリ、優秀デナイ部分ヲ基礎ニシテ、統制ガ運用サレルト云フ處ガ相當アリマス、私モ田舎デアリマスガ、田舎ノ方デ見マシテモ、結局ノ所ハ幾ラデ使ツテモ宜シイト云フコトデ、假ニ非常ニ高イ賃銀デ、ドンレ人ヲ集メラレルト云フヤウナ事柄ガ、無條件ニヤレルノカト云フト、私ハ如何ニ重點產業デモサウ云フコトハ許セナイ、又許スト他ノ產業トノ非常ニ大キナ不均衡ヲ生ジテ、却テ生産増強ヲ阻害スル、唯色々ナ賃銀統制令ノ今日ノ狀況カラ、非常ヲ困難ナ重工業ノ爐前ノ作業ヲスル者ト、然ラザル者トノ間ノ賃銀ノ「バランス」ガ、果シテ適當デアルカドウドウカ、又是等ノ非常ニ重筋勞働ヲスル者ニ對スル色々ナ勞務管理ノ點ガ、他ノ一般ト同様ニ劃一的ニヤツテ適當デアルカドウスベキ點ガアルト思ヒマス、斯ウ云フ點ニ關シテ、實情ニ即シタ賃銀統制令ノ運用ト云フコトハ、勿論考ヘテ行ク必要ガアラウト思ヒマスガ、是等各種ノ規定其ノモノガ複雜デアリ、其ノ運用ガ劃一的デ、膠着シテ居ル爲ニ、一般ノ生産増強ノ阻害ニナツテ居ルト云フコトハ、是等ノ法令ニ依リマシテ、相當是正サレルコトニナルト思フノアリマス。

○中原委員 更ニ御伺ヒ申上ダトイコトガシテ此ノ集中サレタ所ノ勞務、資材、動力等、付キマシテハ、合同ニ付テモ考ヘル、サウス事柄ハ、其ノ跡ヲ絶タナケレバナラヌト思フノデアリマス、又五重點產業ニ付キマシテモ、能率ノ良イ所ニ集中スル、其ノ爲ニ企業ノ整備ヲシナケレバナラナイカドウカ、知リマセヌガ聞クノデアリマスガ、サウ云フ事實アリトスレバ、サウ云フ非能率的ナ工場ヲ止メサセテ、能率工場ノ方ヲ殖ストカ、或ハサウ云フ企業者ガ怠慢デアルトカ、指導宜シキヲ得ヌト云フヤウナ者ハドンレ止メサセテ、モット能率本位ニ企業整備ガ、斯ウ云フ五大產業ニ對シテモ行ヘルベキヂヤナイカト思フノデアリマスガ、其ノ心配ハナイノデアリマスカ、アルトスレバサウ云フ點ハ、今度ノ法ノ適用デドンレ行フト云フ御意思デアリマスカ、此ノ點ヲ伺ヒマスガ、石炭ノ增産ヲ圖ルコトハ、何ヨリモ必ノ例ヲ舉ゲテ申上ダマスト、石炭ノ狀況、是ハ石炭ハ五重點產業ニ掲ガラレテ居リマスガ、石炭ノ增産ヲ圖ルコトハ、何ヨリモ必要デアルコトハ御承知ノ通リデアリマス、而モ日本ノ產業ノ全體ヲ見マスト、隨分能率ノ良イ山モアレバ、能率ノ惡イ山モアルノデアリマス、而モ如何ニ五重點產業ニ資材、労力、資金、動力等ヲ集中スルトハ申セ、現在ノ日本ノ狀況カラ申シマスト、斯ウ云フモノガアリ餘ル程フンダンニアル譯デハナイノデアリマシテ、其ノ集中サレル所ノ勞務、資材、資金ト云フモノハ、最モ有效ニ使ハレナケレバナラヌコトハ、言フヲ俟タナインデアリマス、而モ能率ノ惡イ石炭山ニ人ヲ入レ、資材ヲ入レテ僅カバカリウ云フモノヲ、一つノ官廳ニ於テ一人ノ大臣ノ炭ヲ出スヨリモ、能率ノ良イ山ニ其ノ人、其ノ資材ヲ入レルナラバ、惡イ山ニ入レタガ、石炭山ニ付テモ相當アルノデアリマス、數倍ノモノガ生産サレルト云フヤウナ實情ガ、石炭山ニ付テモ相當アルノデアリマス、金ノ方ニハ一切心配ナシ、能率一杯出來ルト云フ法ヲ採ルノガ、本當ニ目ノ前ノ一

刻モ争フヤウナ非常時ニハ宜イト思フノデ  
アリマス、過日カラノ御話ヲ聽キマスト、  
ドウモ政府ノ方デハサウ云フ方向ニハ、餘  
リ乘氣デナイヤウナ印象ヲ受ケタノデアリ  
マス、此ノ點ハドウデアリマスカ、サウ云  
フ必要ノナイモノヲ無理ニヤレト云フ譯デ  
ハアリマセヌケレドモ、製鐵ニ付テハ上島  
慶篤ト云夫人が新聞ニ書イタコトヲ見マシ  
テ、最近低溫還元製鐵法ト云フ良イ製鐵法  
ガ發明サレタ、之ニハ新シイ製鐵所ヲ作ツテ  
貴ハナケレバナラヌ、強權ノ發動ヲ欲スル  
ト云フ風ニ、内容ハドウカ知リマセヌガ、  
書イテアツタノデアリマスガ、斯ウ云フモ  
ノガ出來タラ、政府ノ方デハ資金ノ方ハ幾  
ラデモ見テヤル、國有民營ニシテ當業者ニ  
ヤラセル方ガ力モ入り、總テノ從業員ノ產  
業意慾ノ昂揚モサセル、或ハ目前寸刻ヲ爭  
ト云フコトガナケレバナラスト思フガ、サ  
ウ云フコトハドウデアリマスカ、サウ云フ  
コトハ出來得ナイコトデアリマスカ、ヤル  
積リハナイノデアリマスカ

○岸國務大臣 生産増強ヲ期シテ行ク上ニ  
於テ、重要産業ヲ國營ニシタラ宜イデハナ  
シマシテ政府トシテハ、今是等ノ生産増強  
ヲ圖ツテ行ク上ニ於テ、現在行ハレテ居ル  
企業方式ヲ、著シク變更スル意圖ハ持ツテ  
居ラナイト云フコトハ、總理大臣、企畫院  
總裁等ガ明確ニ、本委員會ニ於テ言明サレ  
タ通リデアリマス、私共モサウ云フ考へ方  
ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ今御指摘  
ニナリマシタ如ク、新シイツノ方式デア  
ルトカ、或ハ從來行ハレテ居ラナイ方法ニ  
ハアリマセヌケレドモ、製鐵ニ付テハ上島  
慶篤ト云夫人が新聞ニ書イタコトヲ見マシ  
テ、最近低溫還元製鐵法ト云フ良イ製鐵法  
ガ發明サレタ、之ニハ新シイ製鐵所ヲ作ツテ  
貴ハナケレバナラヌ、強權ノ發動ヲ欲スル  
ト云フ風ニ、内容ハドウカ知リマセヌガ、  
書イテアツタノデアリマスガ、斯ウ云フモ  
ノガ出來タラ、政府ノ方デハ資金ノ方ハ幾  
ラデモ見テヤル、國有民營ニシテ當業者ニ  
ヤラセル方ガ力モ入り、總テノ從業員ノ產  
業意慾ノ昂揚モサセル、或ハ目前寸刻ヲ爭  
ト云フコトガナケレバナラスト思フガ、サ  
ウ云フコトハドウデアリマスカ、サウ云フ  
コトハ出來得ナイコトデアリマスカ、ヤル  
積リハナイノデアリマスカ

○岸國務大臣 生産増強ヲ期シテ行ク上ニ  
於テ、重要産業ヲ國營ニシタラ宜イデハナ  
シマシテ政府トシテハ、今是等ノ生産増強  
ヲ圖ツテ行ク上ニ於テ、現在行ハレテ居ル  
企業方式ヲ、著シク變更スル意圖ハ持ツテ  
居ラナイト云フコトハ、總理大臣、企畫院  
總裁等ガ明確ニ、本委員會ニ於テ言明サレ  
タ通リデアリマス、私共モサウ云フ考へ方  
ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ今御指摘  
ニナリマシタ如ク、新シイツノ方式デア  
ルトカ、或ハ從來行ハレテ居ラナイ方法ニ  
ハアリマセヌケレドモ、製鐵ニ付テハ上島  
慶篤ト云夫人が新聞ニ書イタコトヲ見マシ  
テ、最近低溫還元製鐵法ト云フ良イ製鐵法  
ガ發明サレタ、之ニハ新シイ製鐵所ヲ作ツテ  
貴ハナケレバナラヌ、強權ノ發動ヲ欲スル  
ト云フ風ニ、内容ハドウカ知リマセヌガ、  
書イテアツタノデアリマスガ、斯ウ云フモ  
ノガ出來タラ、政府ノ方デハ資金ノ方ハ幾  
ラデモ見テヤル、國有民營ニシテ當業者ニ  
ヤラセル方ガ力モ入り、總テノ從業員ノ產  
業意慾ノ昂揚モサセル、或ハ目前寸刻ヲ爭  
ト云フコトガナケレバナラスト思フガ、サ  
ウ云フコトハドウデアリマスカ、サウ云フ  
コトハ出來得ナイコトデアリマスカ、ヤル  
積リハナイノデアリマスカ

○岸國務大臣 生産増強ヲ期シテ行ク上ニ  
於テ、重要産業ヲ國營ニシタラ宜イデハナ  
シマシテ政府トシテハ、今是等ノ生産増強  
ヲ圖ツテ行ク上ニ於テ、現在行ハレテ居ル  
企業方式ヲ、著シク變更スル意圖ハ持ツテ  
居ラナイト云フコトハ、總理大臣、企畫院  
總裁等ガ明確ニ、本委員會ニ於テ言明サレ  
タ通リデアリマス、私共モサウ云フ考へ方  
ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ今御指摘  
ニナリマシタ如ク、新シイツノ方式デア  
ルトカ、或ハ從來行ハレテ居ラナイ方法ニ  
ハアリマセヌケレドモ、製鐵ニ付テハ上島  
慶篤ト云夫人が新聞ニ書イタコトヲ見マシ  
テ、最近低溫還元製鐵法ト云フ良イ製鐵法  
ガ發明サレタ、之ニハ新シイ製鐵所ヲ作ツテ  
貴ハナケレバナラヌ、強權ノ發動ヲ欲スル  
ト云フ風ニ、内容ハドウカ知リマセヌガ、  
書イテアツタノデアリマスガ、斯ウ云フモ  
ノガ出來タラ、政府ノ方デハ資金ノ方ハ幾  
ラデモ見テヤル、國有民營ニシテ當業者ニ  
ヤラセル方ガ力モ入り、總テノ從業員ノ產  
業意慾ノ昂揚モサセル、或ハ目前寸刻ヲ爭  
ト云フコトガナケレバナラスト思フガ、サ  
ウ云フコトハドウデアリマスカ、サウ云フ  
コトハ出來得ナイコトデアリマスカ、ヤル  
積リハナイノデアリマスカ

○岸國務大臣 生産増強ヲ期シテ行ク上ニ  
於テ、重要産業ヲ國營ニシタラ宜イデハナ  
シマシテ政府トシテハ、今是等ノ生産増強  
ヲ圖ツテ行ク上ニ於テ、現在行ハレテ居ル  
企業方式ヲ、著シク變更スル意圖ハ持ツテ  
居ラナイト云フコトハ、總理大臣、企畫院  
總裁等ガ明確ニ、本委員會ニ於テ言明サレ  
タ通リデアリマス、私共モサウ云フ考へ方  
ハ致シテ居リマセヌ、併シナガラ今御指摘  
ニナリマシタ如ク、新シイツノ方式デア  
ルトカ、或ハ從來行ハレテ居ラナイ方法ニ  
ハアリマセヌケレドモ、製鐵ニ付テハ上島  
慶篤ト云夫人が新聞ニ書イタコトヲ見マシ  
テ、最近低溫還元製鐵法ト云フ良イ製鐵法  
ガ發明サレタ、之ニハ新シイ製鐵所ヲ作ツテ  
貴ハナケレバナラヌ、強權ノ發動ヲ欲スル  
ト云フ風ニ、内容ハドウカ知リマセヌガ、  
書イテアツタノデアリマスガ、斯ウ云フモ  
ノガ出來タラ、政府ノ方デハ資金ノ方ハ幾  
ラデモ見テヤル、國有民營ニシテ當業者ニ  
ヤラセル方ガ力モ入り、總テノ從業員ノ產  
業意慾ノ昂揚モサセル、或ハ目前寸刻ヲ爭  
ト云フコトガナケレバナラスト思フガ、サ  
ウ云フコトハドウデアリマスカ、サウ云フ  
コトハ出來得ナイコトデアリマスカ、ヤル  
積リハナイノデアリマスカ

○中原委員 最後ニ御伺ヒ申上ゲタイト思  
フノハ、此ノ五大産業ヲ中心ニシマシテ、之ニ  
關聯シテヤハリズツト非常ニ廣ク産業方面  
ニ關係スルノダト思フ、ソレニ對シテ從前  
カラ屢々問題ニナリマシタ通り、一ツノ機  
關ヲ置イテヤルカヤラヌカト云フコトニ付  
テ、政府デハ機關ヲ置イテヤラスト云フコ  
トデアリマスガ、今經濟參謀本部ト言フ  
マシテモ、資材ニシマシテモ、配給ニシマシテ  
モ、萬遺憾ノナイ策ヲ執ツテ貴ハナケレバ  
畫ガ立テラレテ參ツテ居ルノデアリマス、

又はト開聯シテ輸送計畫ガアル、是等ノ諸種ノ計畫ハ、其ノ根本ニ於テ或ル企業ニ綜合サレ有機的ナ全體的ナ均衡ノ取レタモノノデナケレバナラヌコト言フヲ俟タナインデアリマス、例ヘバ物動計畫ニ於テ或ル企業ニ一定ノ資材ガ與ヘラレタ、之ニ對シテ必要ナ資金計畫、或ヘ勞務計畫ト云フモノガ立ツテ居ツキ、又動力モ輸送モ之ニ「バランス」ガ取レテ、行クト云フ風ナ計畫ガ立テラレテ行カネバテ、チャント必要ナ資金モ必要ナ労務モ行キ、又運動力モ輸送モ之ニ「バランス」ガ取レテ、行クト云フ風ナ計畫ガ立テラレテ行カネバスト、其ノ計畫ニ綜合性、其ノ周密サニ於キマシテ、遺憾ナガラ十分デナカツタ點モアツタノデアリマス、併シナガラ是ハ言フマデモナク自由經濟カラ、斯ウ云フ風ナ中央ニ於テ一ツノ計畫ヲシテ生產ヲ押進メテ行クト云フ所ヘ移リ變ツテ來ル移リ變リトシテハ、ドウモ已ムヲ得ナカツタコトデアルト思フノデアリマス、近時是等ノ計畫ヲ立テル場合ニ於キマシテハ、統制會等ノ首腦部モ、實質的ニ參畫致シマシテ、各種ノ綜合計畫ト云フモノガ、以前ヨリハ見違ヘル程周密ニ立テラレテ來ルヤウニナツクノデアリマス、隨テ今日ノ狀況ニ於テ一ツノ懶ミハ、實ハ計畫ノ杜撰、デアルトカ、計畫ノ綜合性ガ十分デナイト云フ計畫ノ問題ヨリモ、計畫通り實施サレルカドウカ、實行ノ部面ニ於テ果シテ計畫通りニ行ツテ居ルカドウカト云フ、其ノ計畫ヲ實施スル部面ニ於ケル綜合性ト、又時期的其ノ他ニ於テチャント「バランス」ノ取レタモノガ行ツテ居ルカドウカト云フ點ニアルノデアリマシテ、今日ノ狀況カラ申シマスト、私ハ計畫自體トシテハ勿論何處ニモ缺陷ガナイ、モウ完全無缺ナモノダト言ヒ切ルコトハ出來マセ

又ケレドモ、計畫トシテノ綜合性及ビ周密性ニ於テハ、今日サウ缺ケテ居ルト云フコトヲ嘆キ、又之ヲ憂フル必要ハナイノデアリマス、寧ロ其ノ實行ヲ確保スルト云フ所ニ、非常ナ難點ガアル、例ヘバチヤント計畫ニ基イタ配給ノ計畫ガアツテ、ソレニ基イテノ切符ハ出テ居ル、併シ現物ガ入ツテ來ナイ、入ツテ來テモソレガ非常ニ時期的ニ——例ヘバ第一四半期ノ五月ナラ五月ニ入ルベキモノガ、十月ニナツテ入ツテ來ル、或ハ計畫トシテハチヤント資材ト勞務ト資金トガ釣合ガ取レテ居ルガ、資材ハ入ツテ來タケレドモ、勞務ノ方ガ入ツテ來ナイ、計畫トシテハチヤント輸送計畫モ、之ニ合ツタモノガ立テラレテ居ルケレドモ、輸送ノ方モ何カ旨ク行カナイト云フヤウナ、實行ノ部面ニ於テ計畫通りチヤント入ツテ居レバ問題ハナインデアリマスガ、其ノ實行部面ニ於ケル綜合性ト、又時期的ニ均衡ノ取レタ事柄ニ於テ、非常ニ缺ケテ居ルト云フノガ、現實ノ最モ大キナ惱ミデアルト思フノデアリマス、將來ニ於キマシテ、計畫ノ周密サヲ増シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、十分統制會其ノ他有功力民間ノ人ノ實質上ノ參加ニ依リマシテ、今後モ益益此ノ精度ヲ高メテ行クト云フコトニ努力スルコトハ勿論デアリマスガ、此ノ法律ノ施行ニ依リマシテ、私共ハ其ノ計畫通りヲ入レテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

私モ申上ゲタイト思ツテ居ツタノデアリマスガ、由來法令ノ出シ放シデ、其ノ結果ガドウナツタカト云フコトヲ、一向調ベナカモニウタノガ今マデノ缺點デアツタト思フノデアリマス、是ハ是非其ノ實行ヲ期シタモノニニハヨク褒メテヤル、或ハ徹底シタモノニ付テハ、其ノ都度信賞必罰ヲ明カニシテ、色々此ノ實行性ヲ確メル方法ハ是非執ツテ戴カナケレバナラスト存ジテ居リマス、今ノ御話デ能ク分リマシタガ、要スルニ法令ノ他ノ計畫ガ完備シマシテモ、最後ハソレニ從事スル者ノ生産意欲ヲ愈々高メル、是非ヤラナケレバナラスト云フ意欲ヲ鼓舞スルコトガ必要ナノデアリマシテ、是ハ御波セヌガ、職工アタリニ會社ナリ工場ナリニ主義々々々々ト申シテ居リマスガ、軍需工場デ陣頭主義ノ社長サンダカ誰ダカ存ジマス、斯ウ云フ賛澤ナ暮シヨシテ、アア云フ不品行ナ者ガ、陣頭主義ト云フノハラカシイト云フノデ、却ツテ能率ヲ落スヤウナ場合モナシイ譯デハナイト聞イテ居リマス、斯ウ云フノハ陣頭主義ガ陣頭主義ニナラナイノデアリマジテ、斯ウ云フ實際カラ言フト氣ノ毒デアルケレドモ、政府或ヘ其ノ係官ノ方デ相當誘導シテ、サウシタ者ハ罷メサシテ、本當ニ陣頭主義ノ出來ルヤウナ人ヲ陣頭ニ立タシメルト云フコトモ、從業員ノ生産意欲ヲズルヤウニ、本當ニ身ヲ殺シテ仁ヲナス位向上スル上ニ於テ、相當必要ナコトデハナ

ノ程度、命掛け御奉公スル、衆ニ先シジテ指導スルヤウナ人ヲ立テルヤウニ誘導シテ戴クコトガ、是ハ細カイヤウデアリマスケレドモ、相當ニ必要ナコトデハナカラウカト思ヒマス、モウ一つハ私共ハ農村ノ者デアリマスカラ米ヲ思フノデアリマス、米ハ何シロ安クテ——ソレハ安イナドト云フコトヲ言ツテ、怠ル農民デハアリマセヌケレドモ、ソレデモドウモ米作り或ハ食糧ノ生産ト云フコトニ付テ、十分ニ力ガ入ラヌヤウニ思ハレル節ガナキニシモアラズデアリマス、隨テ米ト同ジャウニ原料ノ鐵トカ、銅トカ、石炭トカ、石炭ハ此ノ頃大分補助ガ出テ宜シヤイウデアリマスガ、鐵ニシテモ、銅ニシテモ承リマスト、先ニ値段ヲ決メタ時ヘ、支那事變ガ始マツタ、ドウシテモヤラナケレバナラヌト云フノデ統制ガ出來タ時デ、アノ公定價格ハズツト前ニ出來テ居ル、今外國カラ物ノ來ヌヤウナ時ニナツテモ、ヤハリ九。一八ノ公定價格デズツトヤツテ居ルトフ云コトヘ、其ノ筋ノ不平バカリデハナイ、常識的ニ考ヘテモ、ドウモ改正シテヤラスト本當デヘナイ、適正價格デヘナイト思イマス、銅、鐵等ハ餘り詳シクハ存ジマセヌケレドモ、サウ云フモノノ加工品ハ唯加工シタダケデ五十割位高クナル、原料ニ對シテハ適正價格、二重價格デ補助ヲヤルト言ヒマスガ、其ノ補助モ比率カラ言ヒスト、十割未満ノ補助デアリマシテ、他ノモノハ五十割高クナリ、三十割高クナツテ居ル際ニ、サウ云フ本當ノ基礎的ナ原料ニナルモノガ、依然昭和十三年頃ノ相場ノ比率デ居ツテハ、本當デヘナイト思イマス、ヤハリ昭和十七年頃マデ見テヤリマシテ、外國カラ物ノ來ヌ、自給自足ヲヤラナケレ

○岸國務大臣 原料產業ニ對スル物價ノ水準ガ、非常ニ酷デアル、是ハ支那事變開始後間モナク決メラレタ價格ダ、其ノ水準三置イテ居ルガ故デアルト云フ御話デアリマス、實ハ低物價政策自身ヲ堅持シナケレバナラヌト云フ必要ヘ、何モ申シ述べルマデモナイ、是ガ基礎ニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ堅持ノ見地カラ基礎的物資ヲ上ゲマスト、之ニ關聯シテ第二次製品、第三次製品、第四次製品ト幾多ノ製品ヲ上ゲナケレバナラヌ、例ヘバ銑鐵ノ値段ヲ上ゲマスト、當然銅塊ノ値段ヲ上ゲナケレバナラヌ、鋼塊ノ値段ヲ上ゲレバ鋼材ノ値段ヲ上ゲナケレバナラヌ、鋼材ノ値段ヲ上ゲレバ當然各種ノ機械ノ値段ヲ上ゲナケレバナラヌ、機械ヲ皆上ゲルト云フコトニナレバ、此ノ機械ヲ使ツテ居ル産業ノ製品ノ値段ヲ上ゲナケレバナラヌト云フ風ニ、銑鐵其ノモノノ値段ヲ上ゲルト、是ガ基礎物資デアルガ故ニ、其ノ及ブ範圍ガ非常ニ廣イ、隨テ斯ウ云フモノノ價格ハ、現在ノ價格ヲ堅持シテ行クト云フヤリ方ヲヤツテ來タノガ、今日マデノ狀況デアリマス、石炭ニ付キマシテモ同様デアリマス、唯サウナリマスト色々ナ點ニ、サウ云フ原料ヲ造ル生産者ガ引合ハヌクナル、之ヲドウスルカト云フ問題ニ關シマシテハ、所謂二重價格制度デ、製造者ニコトヲセヌト、根底的ニ産業人ノ意欲ヲ十分ニ鼓舞スルコトガ出來ヌノデハナイカト思ヒマス、是ハ御答ヘガアレバ承ハルシ、ナクテモ宜シウゴザイマス

其ノ二重價格ノ價格差ヲ政府が負擔スルト  
云フノガ、今ノ補償金ノ制度デアリマス、  
唯此ノ補償金ノ制度自身ノ運用ノ實例ヲ見  
マスト、必ズシモ適正ニ行ツテ居ラヌ、即  
チ價格差ヲ補償スルト言ヒナガラ、其ノ後  
上ツテ居ル生産費ノ全部ヲ、必ラズシモ補  
償シテ居ラナイ、現ニ一ツノ例ヲ以テ申シ  
マスト、石炭ノ買取補償金ト云フ制度ガ實  
施サレテ居ルノデアリマシテ、御承知ノ通  
リ石炭ヲ生産スル鑛業者ニ對シマシテハ、  
其ノ買入價格ニ對シテハ一定ノ値ヲ上げテ  
ヤル、併シ消費者ニ賣ル値段ハ、從來ノ値  
ヲ堅持スル、其ノ差額ヲ政府が補償スル、  
此ノ補償金制度ヲ設ケタ初メハ、政府が補  
償シマス結果、平均致シマシテ「トン」當リ二  
圓前後ノ利益ト云フモノガ、石炭業者ニア  
ツタノデアリマス、然ルニ「三年之ヲ實行  
シテ今日ニナツテ見ルト、大體ニ申シマシ  
テ、補償金ヲ貰ツテモ利益ハ一ツモナイ、  
大體トンヽダ、中ニハ補償金ヲ貰ツテモ  
酷イノハ赤字ダト云フノガ、實ハ石炭ノ現  
情デアルノデアリマス、ソレデハドウシテ  
サウ云フコトニナツカト申シマスト、是  
ハ商工省モ勿論責任ガアルノデアリマスガ、  
豫算ヲ査定スル場合ニ於キマシテ成ベク豫  
算ヲ緊縮スル、又ハ無駄遣ヒハシナイト云  
フ方針カラ補償金ノ額ガ、卑近ナ言葉デ言  
ヘバ段々値切ラレル、サウシテ結局何年カ  
ルノニ應ジテ、補償金ガ殖エテ居ラナイ  
爲ニ、初メ二圓ノ利益ガアツタモノガ、今  
日ニ於テハ利益ガナクナツタ、斯ウ云フノ  
ガ現情デアリマス、是デ尙ホ増産ヲシロ、

思フ、是ニ於テ今度ノ議會ニ補償金ノ増額ヲ計上シテ居ルノデアリマスガ、之ニ依リマスト或程度ノ利潤ト云フモノガ、平均シテ石炭業者ニ行クト云フ値段ニナルノデアリマス、此ノ補償金制度ニ依ツテヤルト云フ事柄ガ、今申シマシタヤウナ國家ノ豫算編成ト關聯シテ、サウ云フヤウナ不合理ガ時ニ生ズル虞レガアル、ソレカラ補償金デアルカラ、年々豫算ニ縛ラレテ居ツテ、不安定デアルト云フコトニ對スル一般ノ人々ノ不安、又今ノハ平均シテノ話デアリマシテ、現實ノ生產費ヲ見マシテ、生產ノ能率ノ非常ニ良イ山ニ付キマシテハ少ク、惡イ山ニハ多クヤルト云フヤウニシマシテ、大體引合フヤウニシテヤツテ居ルノデアリマス、餅シはニハ一ツノ缺點ガアルノデアリマシテ、今申シタダケデハウキリ分ツテ居ルト思ヒマスガ、結局ウント改善シテ合理化シテ、能率ヲ上げテ「コスト」ヲ下ゲルト、買取補償金ガ低クナツテ來ル、寧ロ「コスト」ガウント掛ツテ、餘リ改善シテ居ラナケレバ、ソレヲ補償シテ貰ヘル、サウスルト苦勞シテ能率ヲ上ゲル必要ハナイデハナイカト云フヤウナ嫌ヒガアルノデアリマス、隨て是ハ戰時下ニ於テサウ云フ心得デハイカヌト言ハルレバ、何モナイコトデアリマスケレドモ、ヤハリ實情カラ申スト、必ズシモサウ云フコトデハイカナイノデアル、是ニ於テ今度ハ合理化サレタ標準ノ山ヲ基準トシテ補償金額ヲ決メテ、ソレヨリウント努メレバ多クナリ、怠ケレバ標準ヨリハ利益ガ少クナルト云フ風ニ、補償金ノ實際ノ運用ヲシテ行クト云フコトガ、生產増強ノ上カラ言ウテモ、適當デハナイカト云フヤウナ

コトヲ考へテ居リマシテ、補償金ノ現實ノ運用等モ十分考へマシテ、生産增强ノ實ヲ舉ゲルコトニ遺憾ノナイヤウニ運用シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考へテ居リマス○中原委員終リマシタ○前田委員長藤本捨助君○藤本委員割期的戰力增强ノ爲ニ、其ノ基本要件ト致シマシテ、勞力資材、資金等ヲ適時適量ニ確保スルコトノ必要デアルコトハ、申スマデモナイトコトデアリマスガ、別ケテモ生産力增强ノ現段階ニ於キマシテ、生産ヲ阻ム「ネック」ヲ成スモノハ必要ナ時ニ、必要ナル場所ニ、必要ナル量ダケノ輸送力ガ、即應シテ居ラヌ所ニアルト信ズルノデアリマス、此ノ見地カラ致シマシテ、私ハ商工大臣ニ極メテ簡単ニ自動車工業ノ政策ニ付テ——輸送力ニ八船舶ノ問題モアレバ、鐵道モアリマスガ、ソレハ暫ク措クト致シマシテ、船舶輸近ノ一部、鐵道輸送ノ一部ヲ自動車ニ轉嫁致シテ居リマス今日、自動車輸送ノ使命ヲ完全ニ遂行致ス爲ニハ、自動車殊ニ貨物自動車ノ新車ノ補給部分品ノ供給、ソレガ爲ニ生産ノ增强、或ハソレニ必要ナル資材ヲ確保スルコトヲ急務中ノ急務トシテ、適當ナル施策ヲ講ジナケレバナラナイト思フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ如何ナル御所見アリヤ、或ハ十八年度ノ豫算ニ之ヲ如何様ニ見積ツテアルカ、或ハソレガ適當デアルカドウカ、適當デナイトスルシテ、乗用自動車モサウデアリマスガ、貨物自動車ノ部分品が缺乏致シテ居リマス、キタイ、斯ウ云フ風ニ考へテ居リマス

順位ガ違フ、即チ新車ノ製造デアルナラバ生産擴充物資トシテ配給サレテ居リマスケレドモ、修繕ニ要スル資材ハ民需トシテアリマスガ爲ニ非常ニ部分品ノ缺乏ヲ招來シテ居リマス、遊休車ノ多イモノモ是カラ來テ居ルト感ズルノデスガ、此ノ際ニ當リマシテ、自動車ノ輸送力ヲ増強致ス方途トシテ、部分品ノ生産增强ヲ圖ル爲ニ、物動順位ニ付テ何カ御考ヘラ致サレテ居ルカドウカ、更ニ根本的ニ申シマスナラバ、我ガ國ノ物動計畫ハ資材物動デアツテ、製品物動デナイト云フ所ニ最モ重大ナル原因アリト存ジマス、隨ヒマシテ現行ノ我ガ國ノ物動計畫ヲ、今後資材物動ヨリ製品物動ニ改訂スル、少クトモ重要ナル機械、例ヘバ自動車等ニ付キマシテハ、製品物動ニ致スヤウナ御意見ガアリヤ否ヤト云フコトニ付テ、御尋ネ致シマス

○岸國務大臣 生產增强上、輸送ノ面カラ自動車ノ問題ニ付テ御尋ネ戴イタノデスガ、御承知ノヤウニ、私共陸上輸送ノ非常ニ重要ナル部面ヲ今日受持ツテ居ル自動車、特ニ貨物自動車ノ輸送力ト云フモノハ、之ヲ増強シナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、併シ日本ノ自動車工業ノ現状ヲ見マス、併シ現在ノ狀況カラ申シマスト、之ニ對シテノ資材ノ割當ガ、色々ナ他ノ產業トノ睨ミ合セノ上カラ申シマシテ、能力全部ニ對スル原材料ノ割當ト云フコトニハ行カナインデアリマス、相當制約サレタ形ニ於テ車ガ造ラレテ居ル、サウシテ造ラレテ居ル車ノ大部分ハ、現下ノ實情カラ申シマス

用フル必要ガアルト云フコトカラ、自然一般ノ輸送力ノ補強ニナリマスルト、「トラック」新車ノ補給ト云フ部門ガ十分ニ行ツテ居ラナイ現状デアリマス、是ハ出來ルダケ私共努力シテ行キタイ、能力ハアルノデアリマス、唯資材ノ點カラ新車ガ困難デアルナラバ、今度ハ古イ車ヲ修理シテ、之ヲ使ツテ行クト云フ部面ヲ、大ニ增强スル必要ガアル、隨テ部分品ノ製造ヲ十分ニシテ改造車ヲ大ニ動カシテ行ク、此ノ必要モ私御意見ノ通りニ認メテ居リマス、隨テ本年度ノ狀況トシテハ、數字ハ御許シヲ願ヒタイト思ヒマスガ、貨物自動車ノ新車ノ補給ニ加ヘテ、一定量ノ改造車ノ計畫ヲ立て居リマス、之ニ關スル部分品ノ生産ニ付キマシテハ、或ル種ノ計畫ヲ以テ本年ハ進ンデ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス、又一般物動ニ付キマシテ、原材料ノ物動デアツテ製品ノ物動ニナツテ居ラナイ、隨テ製品物動ヲヤルベキデアルト云フ御考ヘモ、私共近年其ノ必要ヲ痛感致シテ居リマシテ、サウ云フ方面ニ漸次進ンデ居リマスガ、是ハ御承知ノヤウニ一番完全ナコトヲ申シマスト、資材物動ニ加ヘテ製品物動ト云フモノガ、兩面カラ車ノ兩輪ノ如クキツト合ツテ行クコトガ望マシイガ、中々總テノモノニ付テ、急速ニ總テヤルト云フコトハ困難デアリマスガ、來ルベキ十八年後ノ日本ノ陸上輸送機關ニ對シマシテハ、居リマス

○前田委員長 承知致シマシタ ○藤本委員 次ニヤヘリ自動車ニ關スルコトデアリマスガ、支那事變以來、我ガ國ニ對シマスル經濟封鎖ガ強化サレルニ連レマシテ、液體燃料ガ涸渴致シ、隨テ代用燃料ノ使用ガ擡頭致シ、政府並ニ多クノ民間業者ノ努力ニ依リマシテ、相當ノモノガ出來テ居リマスガ、此ノ代用燃料ニ即應スル機關ガナインデアリマス、「エンジン」ガナイノデアリマシテ、之ガ爲ニ從來ノ機關ヲ彌縫的ニ實効セシメ、直チニ代用燃料ヲ以テ之ヲ運轉致シテ居リマスル關係上、代用燃料ノ效率モ減退スル、又機關モ非常ニ消耗率ガ多イト云フコトデアリマシテ、此ノ事態ヲ此ノ儘放任推移致シマスルナラバ、數年後ノ日本ノ陸上輸送機關ニ對シマシテハ、居リマス

○藤本委員 速カニ實現セラレンコトヲ願スル次第デアリマス、次ニ第三トシマシン料ニ即應スベキ所ノ機關ヲ造ル國策ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマステハ、之ヲ多ト致シマスガ、尙ホ物動ニ付

キマシテ企畫院總裁、或ハ政府委員ガ御見エニナツテ居レバ、物動計畫ニ付キマシテヒテ液體燃料不足ヲ補ツテ今日參ツテ居少シ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ト云フノ工業ニハ十分ノ生產力ガアル、而カモ其ノハ今モ御話ノゴザイマシタヤウニ、自動車ノ通リ木炭アリ、或ハ石炭、或ハ「カーバス」新車ノ補給ト云フ部門ガ十分ニ行ツテ居ラナイ現状デアリマス、是ハ出來ルダケ私共努力シテ行キタイ、能力ハアルノデアリマス、唯資材ノ點カラ新車ガ困難デアルナラバ、今度ハ古イ車ヲ修理シテ、之ヲ使ツテ行クト云フ部面ヲ、大ニ增强スル必要ガアル、隨テ部分品ノ製造ヲ十分ニシテ改造車ヲ大ニ動カシテ行ク、此ノ必要モ私御意見ノ通りニ認メテ居リマス、隨テ本總裁、或ハ政府委員デ結構デアリマスガ、又委員長ニ於テ宜シク御取計ラヒヲ願ヒマス

○前田委員長 承知致シマシタ ○藤本委員 次ニヤヘリ自動車ニ關スルコトデアリマスガ、支那事變以來、我ガ國ニ對シマスル經濟封鎖ガ強化サレルニ連レマシテ、液體燃料ガ涸渴致シ、隨テ代用燃料ノ使用ガ擡頭致シ、政府並ニ多クノ民間業者ノ努力ニ依リマシテ、相當ノモノガ出來テ居リマスガ、此ノ代用燃料ニ即應スル機關ガナインデアリマス、「エンジン」ガナイノデアリマシテ、之ガ爲ニ從來ノ機關ヲ彌縫的ニ實効セシメ、直チニ代用燃料ヲ以テ之ヲ運轉致シテ居リマスル關係上、代用燃料ノ效率モ減退スル、又機關モ非常ニ消耗率ガ多イト云フコトデアリマシテ、此ノ事態ヲ此ノ儘放任推移致シマスルナラバ、數年後ノ日本ノ陸上輸送機關ニ對シマシテハ、居リマス

○藤本委員 速カニ實現セラレンコトヲ願スル次第デアリマス、次ニ第三トシマシン料ニ即應スベキ所ノ機關ヲ造ル國策ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマステハ、之ヲ多ト致シマスガ、尙ホ物動ニ付

液體燃料ガ十分デナイ、隨テ代用燃料ヲ用ヒテ液體燃料不足ヲ補ツテ今日參ツテ居少シ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ト云フノ工業ニハ十分ノ生產力ガアル、而カモ其ノハ今モ御話ノゴザイマシタヤウニ、自動車ノ通リ木炭アリ、或ハ石炭、或ハ「カーバス」新車ノ補給ト云フ部門ガ十分ニ行ツテ居ラナイ現状デアリマス、是ハ出來ルダケ私共努力シテ行キタイ、能力ハアルノデアリマス、唯資材ノ點カラ新車ガ困難デアルナラバ、今度ハ古イ車ヲ修理シテ、之ヲ使ツテ行クト云フ部面ヲ、大ニ增强スル必要ガアル、隨テ部分品ノ製造ヲ十分ニシテ改造車ヲ大ニ動カシテ行ク、此ノ必要モ私御意見ノ通りニ認メテ居リマス、隨テ本總裁、或ハ政府委員デ結構デアリマスガ、又委員長ニ於テ宜シク御取計ラヒヲ願ヒマス

○前田委員長 承知致シマシタ ○藤本委員 次ニヤヘリ自動車ニ關スルコトデアリマスガ、支那事變以來、我ガ國ニ對シマスル經濟封鎖ガ強化サレルニ連レマシテ、液體燃料ガ涸渴致シ、隨テ代用燃料ノ使用ガ擡頭致シ、政府並ニ多クノ民間業者ノ努力ニ依リマシテ、相當ノモノガ出來テ居リマスガ、此ノ代用燃料ニ即應スル機關ガナインデアリマス、「エンジン」ガナイノデアリマシテ、之ガ爲ニ從來ノ機關ヲ彌縫的ニ實効セシメ、直チニ代用燃料ヲ以テ之ヲ運轉致シテ居リマスル關係上、代用燃料ノ效率モ減退スル、又機關モ非常ニ消耗率ガ多イト云フコトデアリマシテ、此ノ事態ヲ此ノ儘放任推移致シマスルナラバ、數年後ノ日本ノ陸上輸送機關ニ對シマシテハ、居リマス

○藤本委員 速カニ實現セラレンコトヲ願スル次第デアリマス、次ニ第三トシマシン料ニ即應スベキ所ノ機關ヲ造ル國策ガアツテ然ルベキダト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマステハ、之ヲ多ト致シマスガ、尙ホ物動ニ付

ヤウニ思フノデアリマス、隨テ其ノ生産竝ニ配給ニ付テハ計畫性ヲ要スルト思ヒマス、然ルニ現在ニ於テハ此ノ代用燃料ノ生産配給ニ對シテハ計畫性ヲ缺イテ居ル、ソレガ爲ニドレ程關係業者或ハ職域奉公者ガ不便ヲ感ジテ居ルカ分ラナイ、隨テ速カニ此ノ代用燃料ニ關シテ其ノ生産配給ニ計畫性ヲ與ヘ、サウシテ質ニ於テ良好ナル、量ニ於テ大量ナル、或ハ配給ニ於テ合理性ヲ與ヘテ、刻下喫緊ノ要務タル生産擴充ノ要請ニ即應セシムルコトガ、極メテ急務ノヤウニ感ズルノデアリマス、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○岸國務大臣 從來代用燃料ノ配給ニ付テ

十分ナ計畫性ガナカツタ、ト云フ御意見ニアリマスガ、一應ノ計畫ハ勿論立テデヤツテ來

タノデアリマスケレドモ、色々ナ燃料ガア

リマスノデ、是等ノモノガ現實ノ問題トシ

テ十分ニ計畫通リニ配給サレテ居ラナカツ

シマシテ協議會ヲ設置致シ、此ノ自動車

代用燃料ノ配給生產等ニ關シ、十分ナ計畫

性ト其ノ計畫ヲ今後確保シテ行クコトニ力

ヲ注グ積リデアリマス

○藤本委員 商工大臣竝ニ燃料局御當局ノ

代用燃料ニ對スル御努力ニ對シマシテハ、

豫ネ／＼深甚ノ敬意ヲ表シテ居リマス、尙

ホ今後モ只今御述ベニナリマシタヤウニ、

マス、商工當局ニ對スル私ノ質問ハ是デ終

リマス

○前田委員長 企畫院ノ方ハ秋永政府委員

ガ間モナク出席ニナリマス——蟻山正道君

テ御伺ヒ出來レバ幸デアリマス

セヌノデ、其ノ主ナルモノニ付キマシテ、

私共ガ翼政會其ノ他ニ於キマシテ、是等ノ

問題ニ付テ調査研究シ、現實ニ實情ニ即シ

テ、今問題ニナツテ居リマスヤウナ點ヲ色

調ベマシタ結果ニ付テ申上ゲテ、御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○蠟山委員 商工大臣ガ過日豫算總會ニ於

テ小川郷太郎氏ノ質問ニ對シマシテ、現在

ノ戰爭經濟ノ段階ニ於テハ、現實ノ場所ニ

現實ノ要求ヲ充タサシムルコトガ要諦デア

ルト云フコトヲ言ハレタノデアリマス、今

日モ亦中原委員ノ質問ニ對シマシテ、統制

計畫ノ面ニ於ケルヨリモ、寧口問題ハ此ノ

計畫ヲ實際ニドウ行フカ、詰リ計畫通りノ

實行ヲ確保スルコトガ一番肝腎デアル、ソ

コニ御當局トシテハ努力ヲ集中セントシテ

居ルト云フ御考ヘヲ御述ベニナリマシテ、

極メテ適切ナル御意見デアルト、私共ハ拜

聽シタノデアリマス、恐ラク今回ノ戰時行

政特例法案、戰時行政職權特別ノ目的トシ

テ居ル重大ナル戰力增强ニ對シマシテ、一

番問題トナツテ居ル點ハ、此ノ法案ノ所期

シテ居ル所ガ、現實ニ於テ實行出來ルカド

ウカト云フ點デヘナイト思フノデアリマ

ス、重點產業ノ生產力擴充ガ計畫通りニ行

カズ、而モ其ノ影響ガ一般產業ニ及ブ面ダケ

ハ、非常ニ的確ニ行クト云ツタヤウナコト

ニナリマスト、虻蜂取ラズノコトニナリハ

セヌカト思ヒマス、願ハクヘ重點產業ノ生

產力擴充ガ計畫通りニ行クト共ニ、一般產

業ニ對シマシテモ、其ノ影響ヲ少クスルト

云フコトガ、一番問題ノ重點デアルト思フ

ノデアリマス、ソコデ私共ハ此ノ法案ヲ中

心ト致シマシテ、幸ニ今日商工大臣ノ出席

ガアリマシタノデ、主トシテ資材、勞務等

ノ問題ニ付キマシテ、所謂現實ニ計畫通り

之ヲ確保スルト云フ行政的ノ措置ニ付キマ

シテ、商工當局ノ御考ヘニナツテ居ル所ヲ

伺ヒタイト思フノデアリマス、勿論多クノ

資材ニ付キマシテ、々申上ゲルコトモ出來

マセヌシ、御答ヘヲ要求スルコトモ出來マ

テ御伺ヒ出來レバ幸デアリマス

セヌノデ、其ノ主ナルモノニ付キマシテ、

私共ガ翼政會其ノ他ニ於キマシテ、是等ノ

問題ニ付テ調査研究シ、現實ニ實情ニ即シ

テ、今問題ニナツテ居リマスヤウナ點ヲ色

調ベマシタ結果ニ付テ申上ゲテ、御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○岸國務大臣 第一ノ鐵鋼統制規則ヲ或ル

場合ニ緩和スル考ヘヲ持ツテ居ルカト云フ

御尋ねデアリマスガ、此ノ點ハ今日ノ所之

ヲ緩和スルヤウナ考ヘハ持ツテ居リマセヌ、

唯是ノ運用ニ當リマシテ、各種ノ事業等ニ

成ベク色々ナ不必要ナ手續、其ノ他ノ手數

ヲ緩和スルヤウニ、統制會ヲ中心トシテ實

ビノ法案ヲ適用シ、ソレヲ解除若クハ緩和

スルト云フヤウナ御考ヘヲ、オ持チニナツ

テ居リマスカドウカ、是ガ一つノ點ニアリ

マス

○岸國務大臣 第二ハ凡ユル方法ヲ盡シテ其ノ目的ヲ達

シナケレバナリマセヌノデ、此ノ鐵鋼ニ付

キマシテモ、現在遊休資材ト云フモノヲ、

重點產業ノ或ルモノニ對シテ轉換スルト云

ラレルカ、是ガ第二點デアリマス

第三ハ鐵鋼ニ關スル配給機構ノ整備ニ

付キマシテ、特ニ今日ドウ云フ點ヲ御考ヘニ

ナツテ居リマスカ、御聽キシタインデアリ

ス、特ニ鐵鋼販賣統制會社等ノ問題ニ付キマ

シテ、現狀ヲ以テ足リルヤウニ御考ヘニナツ

テ居リマスカ、或ハ這般統制會ニ付キマシテ、

或ル事項ヲ移讓サレタヤウニ聽イテ居リマス

ガ、ソレ等ノ問題ニ付キマシテ、詰リ計畫

次ニ鐵鋼配給ノ機構ニ關シテノ御尋ねデ

アリマスガ、是ハ現在ノ配給機構ガ完全デアリ、

十分デアルト私共實ハ思ツテ居リマスノデア

リマス、是ガ改善ノ方法ニ付キマシテハ、豫テカ

ラ研究ヲ致シテ居リマシテ、適當ニ改善ヲシテ

ク果シテ行キマスガ、今具體的ニ其ノ改善

ノ方法ヲ申上ゲルコトノ出來ナイノハ遺憾ト

致シマスガ、今後此ノ重點產業ノ增産ヲ支障ナ

アルト云ツタヤウナ障礙ガアルト聞イテ居

リマス、是ハ所謂規格ノ單純化、

或ハ單純化方法ニ付キマシテ、ドウ云フ御

考ヘヲ持ツテ居リマスカ、是等ノ諸點ニ付

マセヌシ、御答ヘヲ要求スルコトモ出來マ

テ御伺ヒ出來レバ幸デアリマス

八三

最後ニ規格ノ單純化ノ問題デアリマス、日本ノ產業全體ノ部門ニ瓦ル規格ノ問題ヘ、生産増強ト非常ニ重要ナ關係ガアルト思フノデアリマス、御承知ノ通り從來商工省内ニ規格統一委員會ト云フモノガアリマシテ、所謂日本規格ナルモノヲ相當定メテ參ツタノデアリマス、今日技術院ノ所管ニナツテ居リマスガ、各方面ノ權威者ガ集ツテ、日本規格ト云フモノヲ定メテ、之ニ統一スル方向ニ進ンデ參ツテ居ルノデアリマシテ、既ニ決ツタ日本規格ト云フモノモ、相當澤山アルノデアリマス、唯實際ノ日本規格ノ實施狀況ヲ見マスト「ドイツ」ノ規格ノ如ク、其ノ非常ナ澤山ノ部門ガ、現實ニ實施サレテ居ルト云フ所マデ行ツテ居ラナカツタ事柄ハ、甚ダ殘念デアリマシテ、今日ノヤウナ戰爭ニ直面シテ見マスト、是等ノ規格統一ノ事情ガ、更ニモウ少し進ンデ居リ、又ソレガ產業界ニ實施サレテ居ツタナラバト、斯ウ思フ點モ少クナイノデアリマス、戰時下ニ於キマシテ、此ノ規格統一ノ仕事ハ、今マデヤツテ來シタ方向ニ進メテ行クト共ニ、特ニ戰時下ニ於テ考ヘナケレバナラナイ事柄ハ、或ル部門ニ於テハ戰爭ナルガ故ニ規格ヲ非常ニ高メナケレバナライ部門モ、私ハアルト思フノデアリマス、例ヘバ最近ノ科學戰ノ中心ヲナシテ居ル兵器等ニ於キマシテハ、其ノ精度規格ト云フモノハ、益々之ヲ高メテ行カナケレバナラヌ性質ノモノデアラウト考ヘマス、同時ニ一面ニ於テハ戰時下ニ於テ、平時ト違ツテ規格ヲ下ゲテ格ト云フ簡易ナ規格ヲ定メテ居リマスガ、更ニ事態ノ進展ニ鑑ミマシテ、規格ヲ寧ロ低下

致シマシテ、大量生産、生産増強ト云フモ  
ノヲ寧ロ努メテ行カウト云フ部面モ少クナ  
カラウト思フ、現ニ船舶自體ノ造船ニ付キ  
マシテハ、相當平時ノ規格ヲ下ゲマシテ、  
戰時規格ヲ作ル、又更ニ簡易ナル造船規格  
ヲ定メテ居ラレルノモ、此ノ規格ノ低下ヲ  
要スル部面デアラウト思フ、鐵鋼ノ部門ニ  
於キマシテモ、造船ガサウ云フヤウニ規格  
ガ下ゲラレマスニ連レマシテ、從來ノ造船  
鋼材ノ規格ハウント低下致シマシテ、此ノ  
簡易化サレタ、低下サレタ造船ノ需要ニ應  
ジテ行クト云フ方法ヲ執ルベキコトハ當然  
デス、サウ云フ見地カラ鐵鋼部門ニ於キマ  
シテモ、特殊鋼ナドニ付キマシテハ規格、  
精度ヲ高メルト共ニ、大多數ノモノニ付テ  
ハ規格ヲ寧ロ低下シテ、其ノ大量生産ヲ促  
進スル、斯ウ云フ兩方面ニ進ンデ行キタイ、  
斯ウ思ツテ居リマス

テハ既ニ一部ハ昨年來行ツテ居リマシテ、現ニ産業設備營團等ヲ動カシマシテ、此ノ遊休設施ノ他ノ方面ヘノ轉換ト云フコトモ圖ツテ居リマス、今日マダ全體的ノ調査ト云フモノハ出來テ居リマセヌケレドモ、相當ナ範圍ニ於キマシテ、遊休設備トシテ之ヲ他ニ轉換利用スベキ關係ニ付キマシテハ、具體的ノ案ヲ立テマシテ、其ノ線ニ沿ウテ產業設備營團等ノ機關ノ介在ニ依ツテ、實效ヲ擧ゲテ行ク、斯ウ云フ方針デ居リマス○蠟山委員 鐵鋼ノ問題ニ次ギマシテ、第二ニ「セメント」ノ問題ニ關シテ、御聽キシタイコトガ一黠アルノノデアリマス、ソレハ色賣情ヲ調查致シマシタ結果、私共ガ知リマシタ事實ニ「セメント」ノ地區的生產、ソレガ甚ダ彈力性ヲ缺イテ居ルト云フ事實デアリマス、是ハ北海道ニ於ケル事實デアリマスガ、北海道ニ於キマス所ノ地區的生產割當ハ、其ノ原料關係ナドニ於キマシテハ、十分増產ガ可能デアルニ拘ラズ、其ノ生產割當ニ捉ヘレマシテ、今日デハ北海道方面ノ消費スラ充足シ得ナイト云フヤウナ狀態デアルト云フコトデアリマス、斯カル狀況デアリマシテハ、今日問題ニナツテ居リマスヤウナ重點產業ナドノ場合ニ於キマシテ、「セメント」ニ關シ相當問題ガ起ルノデハナイカト思ヒマスガ、政府ハ此ノ地區的生產割當ト云フモノニ付キマシテ、相當運輸ノ狀況其ノ他ヲ考慮サレ、或ハ原料關係ナドヲ考慮サレマシテ、モット彈力性アル割當ヲサレル考へハナイカト云フコトヲ御聽キ致シタイノデアリマス○岸國務大臣 「セメント」ノ如ク原料ニ於キマシテモ製品ニ於キマシテモ、非常ナ輸送力ヲ要スルモノニ付キマシテハ、之ヲ全

國的地域的ニ原料ノ關係、或ハ消費ノ關係等ヲ勘案シテ、生産計畫ヲ立テ居ルノデアリマス、今御指摘ニナリマシタ北海道ノ如キハ、私ノ承知シテ居リマス限りニ於キマシテハ、原材料、設備能力ノ許シマス限り、若シ消費ガアリトシマスナラバ、消費ニ應ズルダケノ生産ハサセテ居ルコトト思フノデアリマス、唯彼處デ原料關係ガ非常ニ良イカラト云ツテ、或ハ能力全部ヲ造リマシテモ、道内ノ消費以上デアリストスレバ、此ノ製品ヲ他ノ方面ニ運ブコトニ付キマシテハ、輸送力ノ關係ガアリマシテ或ル程度ノ制約ハスルカモ知レマセヌケレドモ、少クトモ、道内ニ於ケル消費ヲ全部彼處ニ賄ヒ得ナイヤウナ生産計畫ニナツテ居ルトスルト、是ハ生産計畫ガ甚ダ宜シクナイト思フノデアリマス、是ハ當然修正ヲサセナケレバナラヌ問題デアラウト思ヒマス、能クノ如ク、サウ云フヤウナ意味デ、地域的ナ生産計畫ヲ立テナケレバナラヌ、其ノ計畫其ノモノニ相當ナ彈力性ヲ持タセテ置クコトノ必要ハアリマスガ、方針トシテハ正ニ御説ノ通りデアラウト思ヒマス、現實ニ問題ニ付キマシテ、尙ほ調べテ見マス○蠟山委員 次ニ御尋ネシタイ問題ハ、木材ノ問題デアリマス、木材統制其ノモノハ、南工省ノ管轄外デアリマスケレドモ、今日問題ニナツテ居リマス重點產業ノ生産者ノ立場カラ申シマスト、其ノ點ハ今度ノ行政特例、職權特例等ニ依リマシテ、恐らく商工大臣ガ新タナル主務大臣ニオナリニナルヤウナ場合、其ノ他ノ大臣ガ主務大臣ニナルヤウナ場合ヲモ豫想サレマスノデ、此ノ際一言質問シテ置キタイト思ヒマス、然ル

ニ其ノ木材ヲ生産スル側デナシニ、木材ヲ需要スル側カラ申シマスト、今日ノ木材統制機構ト云フモノハ甚ダ複雑デアリ、其ノ手續ハ甚ダ煩瑣デアルト云フ聲が高イヤウデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、現實ノ問題ト致シマシテ、ドウ云フ御考ヘヲ御持チニナツテ居リマスカ、御答辯ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

居ルト云フコトカラ、木材ノ不足ト云フコトガ非常ニ痛感サレテ居ル現狀デアラウト思ヒマス、然ラバ是等ノ特別ノ需要増加ニ對應スルダケ、生産ノ部門ニ於テドンノ増産ガ行ハレテ居ルカト申シマスルト、此ノ増産ニ付テ色々ナ支障モアツテ、其ノ結果ニ需要者ガ十分ニ完全ニ一致シテ居ラナイ、茲ニ木材問題ト云フモノガ、世間デ叫ンデ

リ、又木材統制ニ關スル諸機關ノ出來ルコトニ伴ヒマシテ、相當ナ激變ヲ來シテ居リマシテ、其ノ爲ニ地方的ニ申シテ、坑木ノ需給ガ圓滑ニ行ツテ居ラヌ、或ハ坑木自體ノ規格ニ付テモ、從來ノ規格ト木材統制上ノ規格トガ一致シナイ爲ニ、非常ニ不合理ナ規格ノ状況ガアル、或ハ流レル關係ガ急ニ變ツタ爲ニ、配給關係ガ非常ニ不圓滑ニナツ

○岸國務大臣　今御指摘ノヤウナ點ハ、十分私共モ其ノ必要ヲ感ジテ居リマシテ、ソレニ付テノ具體的方法ヲ研究致シテ居ル所デアリマス

○蟻山委員　最後ニ物資ノ問題デ、所謂地  
ス

[View all posts by admin](#) | [View all posts in category](#)

ソレカラヤハリ木材ノ需要者ノ立場カラ申シマスト、之ニ對スル運搬設備ガ甚ダ不完全デアルト云フ意味ニ於キマシテ、運搬設備ノ改善ト云フコトヲ要望シテ居リマス、其ノ意味ニ於キマシテ、何等カ運搬竝ニ配給ノ問題ニ付テ相當考慮ヲ拂ツテ、茲ニ抜本的ノ改正ヲ致サナイト、造船其ノ他ニ於キマシテハ、現實ノ要求ヲ充タスト云フ場合

居ルヤウナ問題ニナツテ居ルコトダト思ヒ  
マス、農林當局トシマシテモ、此ノ木材ノ  
生産ノ増強、木材其ノモノノ生産ヲ殖ヤシ  
テ行クト云フコトニ付テハ、萬全ヲ期シテ  
居ルヤウデアリマス、又統制機構ニ付キマシ  
テモ、出來ルダケ簡素ナ形ニ於キマシテ、  
從來此ノ統制機構ノ變革ノ途上ニ於テ、過  
渡的ナ状況ニ於テ色々起ツタ好マシカラヌ現

ヒマス、併シ石炭ノ増産ヲ致シマス上ニ於テ、坑木ト云フヤウナ點モ多々アルヤウニ思テ、坑木ト云フモノハ絶對不可缺ノモノデアリマス、隨テ一定ノ石炭ノ増産ヲスルト云フ爲ニハ、一定ノ坑木ト云フモノガ必ず確保サレナケレバナラナイノデアリマス、將來此ノ法律ガ施行サレマシテ、石炭ノ増産ヲ假ニ商工大臣ノ責任トシテ一切ヤルト

方配給物資ナルモノニ付テ、生産者ノ側ニ於キマシテ、可ナリ色々タノ支障ヲ感ジテ居ルヤウデアリマス、所謂地方配給物資ナルモノニハ、數多クノモノガアリマスケレドモ、其ノ多クガ其ノ申請ヨリ査定ニ至ル期間、更ニ現實ニ入手スルマデノ期間、相當長期間ヲ要スルノが過去ノ實情デアリマス、長期間ヘバ或ル非鐵金屬ヲ入手シタイ、或ハ油類

*Journal of Health Politics, Policy and Law*, Vol. 35, No. 4, December 2010  
DOI 10.1215/03616878-35-4 © 2010 by The University of Chicago

○岸國務大臣 木材ノ問題ヘ最近其ノ需給  
状況ニ鑑ミマシテ、色々木材統制法茲ニ木  
材ニ關スル各種ノ統制機構等ニ付キマシテ、  
各方面カラ検討ガ加ヘラレテ居ル實情デア  
リマス、此ノ木材ノ實情ハ詳シクハ農林當  
局デナイト申上ゲラネイノデアリマスガ、  
大體私共承知致シテ居ル所ニ依リマスト、  
近時非常ニ需要方面ガ激増シテ居ル、是ハ  
軍需竝ニ生産力擴充方面等、特殊ノ用途ニ  
付テノ需要ガ非常ニ激増シテ居ル、是ヘ已ム  
ヲ得ナイ事態デアラウト思ヒマス、隨テ所  
謂一般民需材ト云フモノガ非常ニ缺乏シテ

シマスト、特ニ木材ノ問題ハ、私カラ申上ゲルマデモナク木造船ノ問題、石炭増強ニ於ケル坑木問題ト云フモノガ、特ニ重要ニナツテ來ルト思フノデアリマス、勿論其ノ他ノモノニ付キマシテモ、工場ノ建設、或ヘソレ等ノ改造等ニ木材ヲ要スルモノモアリマスケレドモ、併シ木材ト五大重點產業トノ關係ニ於テ、非常ニ緊切、重要ニナツテ居ルノハ、船ト石炭ニアラウト思フノデアリマス、石炭ニ付キマシテハ坑木ヲ相當大量ニ要スルノデアリマシテ、而モ從來長イ間取引サレテ居ツタ關係ガ、木材統制法ニ依

ハ色々々ナ統制機關ナリニ付テノ特例ヲ考ヘ  
テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマ  
ス、是等ニ付キマシテモ具體的ニ色々々政府  
部内、關係方面ニ於テ研究ヲ致シテ居リマ  
ス、十分現實ノ問題トシテ支障ヲ來サナイ  
ヤウナ方法ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ思ツテ  
居リマス

ガ講ゼラレルモノト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御考ヘラ伺ヒタイノデアリマス○岸國務大臣 御話ノ如ク從來物資ノ配給ニ付キマシテハ、申請ヲ出シマシテ査定サレルマデ、又査定サレテ一應ノ切符ヲ貰ツテ、其ノ現實ノ入手マデニ相當ノ時日ヲ要スル、此ノ間業者ト致シマシテハ、時日ノ上ニ或ハ手數ノ上ニ非常ナ苦勞ヲ致シテ居リマシテ、其ノ結果生産増強上ノ支障ヲ來シテ居ル所モ少クナイト云フ實情ヲ、私共モ能ク承知致シテ居リマス、今後此ノ法律ガ運用サレルニ至リマスレバ、サウ云フ點へ現

リ、又木材統制ニ關スル諸機關ノ出來ルコ  
トニ伴ヒマシテ、相當ナ激變ヲ來シテ居リ  
マシテ、其ノ爲ニ地方的ニ申シテ、坑木ノ本體  
需給ガ圓滑ニ行ツテ居ラヌ、或ハ坑木本體  
ノ規格ニ付テモ、從來ノ規格ト木材統制上  
ノ規格トガ一致シナイ爲ニ、非常ニ不合理ナ  
規格ノ状況ガアル、或ハ流レル關係ガ急ニ變  
ツタ爲ニ、配給關係ガ非常ニ不圓滑ニナツ  
テ居ルト云フヤウナ點モ多々アルヤウニ思  
ヒマス、併シ石炭ノ增産ヲ致シマス上ニ於  
テ、坑木ト云フモノハ絶對不可缺ノモノデア  
リマス、隨テ一定ノ石炭ノ增産ヲスルト  
云フ爲ニハ、一定ノ坑木ト云フモノガ必ズ  
確保サレナケレバナラナイノデアリマス、  
將來此ノ法律ガ施行サレマシテ、石炭ノ增  
產ヲ假ニ商工大臣ノ責任トシテ一切ヤルト  
云フコトニナリマスレバ、其ノ手段トシテ  
ノ坑木ノ増產ニ必要ナルモノヲ確保スルコ  
トニ付キマシテハ、今マテノ關係デナシ  
ニ、商工大臣ガ責任ヲ持ツテ石炭ヲ增産ス  
ル上ニ必要ナ坑木ニ付テハ、不安ナイト云  
フコトヲ言ヒ得ル爲ニハ、必要量ノ坑木ヲ  
確保スルコトニ付テノ木材統制法ナリ、或  
ハ色々ナ統制機關ナリニ付テノ特例ヲ考ヘ  
テ行カナケレバナラヌト思フノデアリマ  
ス、是等ニ付キマシテモ具體的ニ色々政府  
部内、關係方面ニ於テ研究ヲ致シテ居リマ  
ス、十分現實ノ問題トシテ支障ヲ來サナイ  
ヤウナ方法ヲ講ジテ行キタイ、斯ウ思ツテ

○岸國務大臣 今御指摘ノヤウナ點ハ、十分私共モノ其ノ必要ヲ感じテ居リマシテ、ソレニ付テノ具體的方法ヲ研究致シテ居ル所デアリマス  
○蟻山委員 最後ニ物資ノ問題デ、所謂地方配給物資ナルモノニ付テ、生産者ノ側ニ於キマシテ、可ナリ色々々ノ支障ヲ感じテ居ルヤウデアリマス、所謂地方配給物資ナルモノニハ、數多クノモノガアリマスケレドモ、其ノ多クガ其ノ申請ヨリ査定ニ至ル期間、更ニ現實ニ入手スルマデノ期間、相當長期間ヲ要スルノガ過去ノ實情デアリマス、例ヘバ或ル非鐵金屬ヲ入手シタイ、或ハ油類ヲ入手シタイト云フヤウナ場合ニ於キマシテモ、此ノ所謂地方配給物資ナルモノニ付キマシテハ、地方長官經由デ中央官廳ノ許可ヲ要スルト云フヤウナ譯デアリマスノデ、相當ノ手數ヲ要スルノデアリマスガ、ソレ等ノ問題ニ關シマシテハ、今回ノ特例其ノ他ノ措置ニ依リマシテ、政府ハ相當ノ措置ガ講ゼラレルモノト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御考ヘラ伺ヒタインデアリマス  
○岩國務大臣 御話ノ如ク從來物資ノ配給ニ付キマシテハ、申請ヲ出シマシテ査定サレルマデ、又査定サレテ一應ノ切符ヲ貰ツテ、其ノ現實ノ入手マデニ相當ノ時日ヲ要スル、此ノ間業者ト致シマシテハ、時日ノ上ニ

シテ、其ノ結果生産増強上ノ支障ヲ來シテ  
居ル所モ少クナイト云フ實情ヲ、私共モ能  
ク承知致シテ居リマス、今後此ノ法律ガ運  
用サレルニ至リマスレバ、サウ云フ點へ現

實ノ問題トシテ、手ツ取り早ク直シテ行カ  
ナケレバナラヌ問題デアリマシテ、或ヘ  
面ニ於テハ手續ヲ簡素ナラシメルコトモ考  
ヘナケレバナリマセヌシ、或ハ五大重點產  
業ニ關スル限り、其ノ統制會ニ於キマシテ  
各業者ノ必要トスル資材ヲ十分取纏メマシ  
テ、之ニ對シテ一括シテ是ガ配給ヲ決定ス  
ルト云フヤウナ方法等ニ付キマシテ、折角  
研究致シテ居リマスガ、十分サウ云フ點ハ  
右カラ左ニ直ルヤウニ、速カニ解決サレル  
ヤウニ致シタイト思ツテ居リマス

○蠟山委員 物資ニ付キマシテ種々御尋ネ  
致シマシタガ、最後ニ勞務ノ問題ニ付テ一  
言御尋ネシタインデアリマス、勞務其ノモ  
ノハ現在厚生省所管アリマスケレドモ、  
此ノ特例法ニ依リマスレバ、重點產業ニ付  
キマシテ、新タル主務大臣ガ勞務ニ付テ  
管轄ヲスル場合ガ起リ得ル譯デアリマス、  
此ノ勞務ノ問題ニ付キマシテハ、  
今更申上ゲル必要ハナイノデアリマスガ、  
サウ云フ新タル仕組ガ出來マシタ場合ニ、  
果シテ此ノ勞務ノ管理が適切ニ行ハレルカ  
ドウカニ付キマシテ、相當ノ疑問ヲ持ツテ  
居ルノデアリマス、ト申シマスノヘ、一昨  
日モ法制局長官ノ御説明ニ依リマシテ、今  
度ノ法案ニ依ツテ起リ得ル行政機構ノ變化  
ヲ豫想致シマスト、所謂勞務ニ付キマシテ  
ハ厚生大臣ノ所管ト、新タル主務大臣ノ  
一部所管トガ生ズル譯デアリマシテ、是ガ  
現實ノ勞務管理ノ機關、例ヘバ地方ニ於ケ  
ル國民職業指導所ト云ツタヤウナ現實ノ勞  
務機關ニナリマスト、所謂名分上ノ本部長  
官ト、職務上ノ本屬長官ト云フヤウニ分レ  
ルノデアリマス、而モ勞務計畫ノ種々ノ末  
端ガソコニ集マリマシテ、一ツノ勞務機關關

ニ各種ノ勞務計畫ガ集中スルト云フヤウナ  
事態ヲ生ズル譯デアリマス、サウシタ場合  
ニ、其ノ特定ノ勞務管理者ガ、果シテ其ノ  
ヤウナ重大ナル勞務管理ヲ執行スルコトガ  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フコトハ、  
中々至難ノヤウニ思ハレルノデアリマス、  
今回ノ特例措置ハ甚ダ巧妙ニ出來テハ居リ  
マスケレドモ、之ヲ現實ニ執行シ得ルカド  
ウカト云フ點ニ付テハ、多大ノ疑問ガアリ  
マスノデ、商工大臣トシテ、又國務大臣ト  
シテ此ノ問題ニ付テ總括的ニ商工大臣ノ御  
意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、洵ニ幸ヒ  
ニ存ズル次第アリマス

○岸國務大臣 此ノ特例法ガ實施セラマシ  
テ、一箇所ニ勞務、資材、動力等ノ行政ガ  
集メラレタシテモ、ソレヲ實際運用シテ  
行ク上ニ於キマシテ、今御指摘ニナリマシ  
タヤウナ色々ナ困難ガ想像セラレルノデア  
リマスガ、是ハ申スマデモナイコトデアリ  
マスガ、要ハ私ハ行政官廳、又之ヲ構成シ  
テ居ル官吏ノ心構ヘガ、何ト云ツテモ一番  
根本ヲ成ス問題ダト思フノデアリマス、今  
マデ色々行政廳ノ間ノ權限爭議其ノ他ノ割  
據的ナ事實モ、是ハ機構モ勿論ノコトデア  
リマスケレドモ、要ハヤハリ之ヲ動カシテ  
居ル人ノ心構ヘノ問題ガ、何ト云ツテモ根  
本ヲ成スモノト思フノデアリマス、機構ヲ  
如何ニ變ヘマシテモ、心構ヘガ變ラナイト  
十分ニ行カナイ、是ハ少シ餘談デアリマス  
ガ、從來私モ農商務省以來、今日ハ農林、  
商工ト分レテ居ル人々ハ農商務省以來ノ同  
僚デアツタノデアリマスガ、農林、商工ト  
職務ガ分レテ來ルト、其ノ間ニ色々事務的

ナ問題ガ起ツテ來ル、之ヲ幾度カ解決スル  
爲ニ、色々ナ申合及ビ色々ナ手段ヲ講ジテ  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フダケデ、  
モ、是ハ文字ノ上デ決メタト云フダケデ、  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フコトハ、  
中々至難ノヤウニ思ハレルノデアリマス、  
今回ノ特例措置ハ甚ダ巧妙ニ出來テハ居リ  
マスケレドモ、之ヲ現實ニ執行シ得ルカド  
ウカト云フ點ニ付テハ、多大ノ疑問ガアリ  
マスノデ、商工大臣トシテ、又國務大臣ト  
シテ此ノ問題ニ付テ總括的ニ商工大臣ノ御  
意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、洵ニ幸ヒ  
ニ存ズル次第アリマス

○岸國務大臣 此ノ特例法ガ實施セラマシ  
テ、一箇所ニ勞務、資材、動力等ノ行政ガ  
集メラレタシテモ、ソレヲ實際運用シテ  
行ク上ニ於キマシテ、今御指摘ニナリマシ  
タヤウナ色々ナ困難ガ想像セラレルノデア  
リマスガ、是ハ申スマデモナイコトデアリ  
マスガ、要ハ私ハ行政官廳、又之ヲ構成シ  
テ居ル官吏ノ心構ヘガ、何ト云ツテモ一番  
根本ヲ成ス問題ダト思フノデアリマス、今  
マデ色々行政廳ノ間ノ權限爭議其ノ他ノ割  
據的ナ事實モ、是ハ機構モ勿論ノコトデア  
リマスケレドモ、要ハヤハリ之ヲ動カシテ  
居ル人ノ心構ヘノ問題ガ、何ト云ツテモ根  
本ヲ成スモノト思フノデアリマス、機構ヲ  
如何ニ變ヘマシテモ、心構ヘガ變ラナイト  
十分ニ行カナイ、是ハ少シ餘談デアリマス  
ガ、從來私モ農商務省以來、今日ハ農林、  
商工ト分レテ居ル人々ハ農商務省以來ノ同  
僚デアツタノデアリマスガ、農林、商工ト  
職務ガ分レテ來ルト、其ノ間ニ色々事務的

ナ問題ガ起ツテ來ル、之ヲ幾度カ解決スル  
爲ニ、色々ナ申合及ビ色々ナ手段ヲ講ジテ  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フダケデ、  
モ、是ハ文字ノ上デ決メタト云フダケデ、  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フコトハ、  
中々至難ノヤウニ思ハレルノデアリマス、  
今回ノ特例措置ハ甚ダ巧妙ニ出來テハ居リ  
マスケレドモ、之ヲ現實ニ執行シ得ルカド  
ウカト云フ點ニ付テハ、多大ノ疑問ガアリ  
マスノデ、商工大臣トシテ、又國務大臣ト  
シテ此ノ問題ニ付テ總括的ニ商工大臣ノ御  
意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、洵ニ幸ヒ  
ニ存ズル次第アリマス

○岸國務大臣 此ノ特例法ガ實施セラマシ  
テ、一箇所ニ勞務、資材、動力等ノ行政ガ  
集メラレタシテモ、ソレヲ實際運用シテ  
行ク上ニ於キマシテ、今御指摘ニナリマシ  
タヤウナ色々ナ困難ガ想像セラレルノデア  
リマスガ、是ハ申スマデモナイコトデアリ  
マスガ、要ハ私ハ行政官廳、又之ヲ構成シ  
テ居ル官吏ノ心構ヘガ、何ト云ツテモ一番  
根本ヲ成ス問題ダト思フノデアリマス、今  
マデ色々行政廳ノ間ノ權限爭議其ノ他ノ割  
據的ナ事實モ、是ハ機構モ勿論ノコトデア  
リマスケレドモ、要ハヤハリ之ヲ動カシテ  
居ル人ノ心構ヘノ問題ガ、何ト云ツテモ根  
本ヲ成スモノト思フノデアリマス、機構ヲ  
如何ニ變ヘマシテモ、心構ヘガ變ラナイト  
十分ニ行カナイ、是ハ少シ餘談デアリマス  
ガ、從來私モ農商務省以來、今日ハ農林、  
商工ト分レテ居ル人々ハ農商務省以來ノ同  
僚デアツタノデアリマスガ、農林、商工ト  
職務ガ分レテ來ルト、其ノ間ニ色々事務的

ナ問題ガ起ツテ來ル、之ヲ幾度カ解決スル  
爲ニ、色々ナ申合及ビ色々ナ手段ヲ講ジテ  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フダケデ、  
モ、是ハ文字ノ上デ決メタト云フダケデ、  
ニアル時ハ別デアリマスガ、非常ニ少イ場  
合ニ、之ヲ現實ニ施行スルト云フコトハ、  
中々至難ノヤウニ思ハレルノデアリマス、  
今回ノ特例措置ハ甚ダ巧妙ニ出來テハ居リ  
マスケレドモ、之ヲ現實ニ執行シ得ルカド  
ウカト云フ點ニ付テハ、多大ノ疑問ガアリ  
マスノデ、商工大臣トシテ、又國務大臣ト  
シテ此ノ問題ニ付テ總括的ニ商工大臣ノ御  
意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、洵ニ幸ヒ  
ニ存ズル次第アリマス

○岸國務大臣 此ノ特例法ガ實施セラマシ  
テ、一箇所ニ勞務、資材、動力等ノ行政ガ  
集メラレタシテモ、ソレヲ實際運用シテ  
行ク上ニ於キマシテ、今御指摘ニナリマシ  
タヤウナ色々ナ困難ガ想像セラレルノデア  
リマスガ、是ハ申スマデモナイコトデアリ  
マスガ、要ハ私ハ行政官廳、又之ヲ構成シ  
テ居ル官吏ノ心構ヘガ、何ト云ツテモ一番  
根本ヲ成ス問題ダト思フノデアリマス、今  
マデ色々行政廳ノ間ノ權限爭議其ノ他ノ割  
據的ナ事實モ、是ハ機構モ勿論ノコトデア  
リマスケレドモ、要ハヤハリ之ヲ動カシテ  
居ル人ノ心構ヘノ問題ガ、何ト云ツテモ根  
本ヲ成スモノト思フノデアリマス、機構ヲ  
如何ニ變ヘマシテモ、心構ヘガ變ラナイト  
十分ニ行カナイ、是ハ少シ餘談デアリマス  
ガ、從來私モ農商務省以來、今日ハ農林、  
商工ト分レテ居ル人々ハ農商務省以來ノ同  
僚デアツタノデアリマスガ、農林、商工ト  
職務ガ分レテ來ルト、其ノ間ニ色々事務的

構運用ノ上ニ於テ、御注意ニ相成ルト云フ  
點デ、十分ニ私ハ了解致シタク思フノデア  
リマスガ、併シ生産増強ノ國家目的ニ副ハ  
ントスル非常ナ熱意ヲ持ツテ居リマス生産  
者モ、現實ノ問題ニナリマスト甚ダ支障ガ  
アツテ巧ク行カナイト云フ場合カラ、單ニ  
營務ノミノ問題デモアリマセヌケレドモ、  
全ク此ノ法規ノ存在在其ノモノヲ疑フ位ニ、  
或ハ機構其ノモノノ存在ヲ疑ツテ、直接ニ  
自分デ其ノ目的ヲ達スル措置ヲ執リタイト  
云フ位ニ、意氣込ンデ居ルノデハナカラウ  
カト思フノデアリマス、サウ致シマスト今  
ノ御趣旨デ十分デハアリマスガ、現實ノ個  
個ノ官吏ガ本案ノ趣旨、政府ノ執ラントス  
ル趣旨ヲ十分ニ理解致シマセヌト、單ニ心  
構ヘダケノ問題デモ片付カナイモノガ、現  
實ニ生ズルト思ヒマス、詰リ何レモ國家焦  
眉ノ問題デアル、又國家ノソレゝノ方面  
カラノ要求デアルト云フ場合ニ、實際ニ當  
面致シマシタ時ニ、其ノ判断ヲ適切ナラシ  
メルト云フコトハ、中々至難ノコトデハナ  
イカト思ヒマスノデ、政府ニ於キマシテハ  
十分其ノ趣旨ガ徹底シ、而モ現實ニ其ノ判  
斷ヲ適切敏速ナラシメルヤウナ點ニ付テ、  
十分ナル御注意ヲ願ヒタイト思フノデアリ  
マス、以上デ私ハ質問ヲ終リマス

○前田委員長 只今企畫院ノ政府委員ガ御出席ニナリマシタガ、御急ギノヤウデスカ

○水谷委員 先づ最初ニ御尋ネ致シマスガ、藤本君去ル一月十九日、重要産業協議會開催ノ統

制會長會議ニ、商工大臣ガ御出席ニナリマシタガ、其ノ時ノ御挨拶ニ、各省大臣ハ今回

ノ劃期的立法ノ範圍内デ、總理大臣ノ指揮

ニ從フコトニナツタガ、是ハ非常ニ大キナ

立法デアル、總理大臣ノ包括的權限ノ實際

上ノ運營ニ關シテハ鐵鋼、石炭、輕金屬ハ

商工大臣、航空機ハ陸海軍、船舶ハ海軍ノ

所管ニ移サレル云々ト云フ御挨拶ガアルノ

デスガ、是ハ結局ハ鐵鋼、石炭、輕金屬ハ

從來カラ商工大臣ノ所管デアリマスガ、此

ノ所管ハ動力ナイ、而モ其ノ上ニ鐵鋼、石

炭、輕金屬ニ關スル營務、資材、動力及び

資金ニ關スル各省大臣ノ職權ガ、商工大臣

ニ移ルト云フ工合ニ解釋シテ宜イノデセウ

カ

○岸國務大臣 當日私ガ申シマシタ所ト、

新聞ニ出テ居ツタ所トハ、少シ違ツテ居ル

ノデアリマスルガ、新聞ノ記事ヲ引イテ今

日ノ私ノ所信ヲ尋ねラレタモノノトシテ御答

へラ致シマス、其ノ記事ハ大分前提ニ假定

ヲ澤山置イテアル事柄ヲ、假定ヲ拔イテ結

論ガ書イテアツタ譯デアリマシテ、其ノ新

聞記事其ノ儘ハ當時申述ベタ譯デハナイノ

デアリマス、此ノ法律ガ施行サレマシテ、

ドウ云フ風ニ現實ニ各省大臣ニ權限ガ集メ

テ行カレルカト云フ問題ニ付キマシテハ、

各重要物資產業ヲ、ドウ云フ風ニ各省大臣

ニ移サレルカト云フコトハ、一一總理大臣ガ

勅裁ヲ經テ決メラレル譯デアリマシテ、直

チニドウスルノダト云フコトヲ私カラ申上

ゲルコトハ、適當デナイト思フノデアリマ

ス、併シ今マデノ主管ノ關係ハ鐵、石炭、

アルミニウムニ付キマシテハ、商工大臣

ガヤツテ居ル譯デアリマス、船舶ニ付キマ

シテハ、最近海軍大臣ニ或ル一定ノ大キサ

ナツテ各省ガ參畫シテ立テル、併シ是ノ實

行ハ是ガ任サレル所ノ生產ノ責任ヲ負フ所

ノ大臣ニ於キマシテ、其ノ計畫ノ範圍内ニ

ハ總理大臣モ此ノ間説明サレタト思ヒマス  
ガ、必要ガアレバ總理大臣自ラ之ヲヤル場

合モアルグラウシ、或ハ各省大臣ヲシテ是

等ノ仕事ヲ一元的ニヤラセルト云フ場合モ

アリマセウシ、此ノ事柄ハ寧ロ私カラ御答

ヘルコトハ適當デナイト思ヒマスルカラ、

此ノ程度ニ御答ヘラ申上ゲテ置キマス

○水谷委員 サウ致シマスト、只今ノ蠟山

サンノ質問ニ對スル商工大臣ノ御答辯デ、

勞務ニ關シテ商工大臣ト厚生大臣トノ關係

ニ付テ御述ベニナツタノデアリマスガ、假

ニ鐵ナラ鐵ト云フモノニ關シテ、ソレノ勞

務、資材、動力、資金ト云フモノガ、商工

大臣ノ職權ノ中ニ移サレルト云フ工合ニナ

リマスト、企畫院ト商工省トノ關係ハ大體

ドノヤウニナルカ、言葉ヲ換ヘテ申シマス

レバ、鐵ナラ鐵鋼ニ關スル勞務、資材、動

力、資金ト云フモノハ、其ノ企畫カラ總テ

實施部面ニ至ルマデ、全部商工省デヤレル

ノカドウカ、其ノ點ヲ一つ御聽カセ願ヒタ

イト思ヒマス

○岸國務大臣 鐵鋼ヲ商工大臣ガヤリ、船

舶ヲ海軍大臣ガ行フト云フ場合ニ、企畫院

トノ關係デアリマスルガ、言フマデモナク

今日ノ全體ノ計畫ト云フモノハ、企畫院ヲ

中心トシテ各省ガ參畫シテ、之ヲ作ラザル

ヲ得ナイノデアリマス、全部ハ綜合的關係

ヲ持ツテ居ルノデアリマシテ、鐵鋼部門ダ

ケガ離レテ、總テノ計畫ヲ立テルト云フコ

トニハ出來得ナイノデアリマス、鐵鋼モ、或

ハ五大產業モ、其ノ他ノ產業モ、全部一緒ニ

全體トシテノ大綱ノ計畫ハ、企畫院ガ中心ト

レテ居ルコトハ、商工大臣モ御存ジデアラ

ウト思フ、所ガ鐵或ハ石炭、輕金屬、斯ウ

云フモノニ關シテ、若シ商工省ガ從來ノヤ

ウニ所管ニナリ、又ソレニ對シテ勞力、資

材或ハ資金其ノ他一切ガ任サレタ時ニ、統

制會ト全面的ニ協力シテ、之ヲ乘切ツテ行

クト云フヤウナ説明ノヤウニ思ツタノデア

ノ大部 分ヲ背負ツテ立ツ所ノ商工省ノ側カラ申シマシテ、統制會其ノモノニ關スルハツキリシタ原理ト云フノデスカ、所信ト云フモノヲ此ノ際御聽カセ願ヘレバ、非常ニ結構ダト思ヒマス

○岸國務大臣 統制會ハ御承知ノ通り經濟新體制要綱ニ基イテ、重要產業團體令ニ依ツテ指定サレタモノニアリマスガ、統制會ト云フ制度ガ考へラレタノハ、今御詫ノ通り勿論大東亞戰爭前ノコトデアリ、又具體的ニ統制會ガ第一次指定サレマシタノモ、大東亞戰爭前ノ狀況デアリマス、隨テ今日ニナリマシテ統制會デハ不十分ダト云フ考ヘ方モ、色々各方面ニ於テアルヤニ私共聞及ンデ居リマス、統制會ニ付テノ理論的ナ説明モ、色々アルヤウデアリマス、實ハ私自身モ過去ニ於テハ隨分理論的ナ議論ヲシタコトモ少クナインデアリマスガ、最近ノ心境ヲ忌憚ナク申上げマスト、産業經營ノ上ニ於キマシテ、所謂指導理念デアルトカ、指導精神デアルトカ云フヤウナ事柄ガ、餘リニ繁ク論ゼラレテ、サウシテ實際ノ問題ガドウナルカト云フコトヲ動トモスルト忘レ勝チデアリ、又却テ實際問題ヲ敏速果敢ニ解決シテ行ク上ニ於テ、餘リニ議論ヤ理念ヲ闘ハス事柄ガ、寧ロ害ニナルト云フヤウナ點ガ少クナイコトヲ痛感致シテ居リマス、寧ロ指導理念デアルトカ、指導精神デアルトカ云フコトヲ高調スルヨリモ、何ガ現實ニ生産ヲ妨ゲテ居ルカ、ドウスルコトガ現實ニ一局トシマンシテモ、又統制會アタリヲ運用サ番必要ナノカト云フ問題ヲ捉ヘテ解決スルレテ居ル首腦部其ノ他ノ人々モ、ソコニ

最モ力ヲ入レテ參ラナケレバナラヌ、勿論此ノ産業界全體又官界ノ先程申上ゲマシタ心構ヘト云フヤウナ點モ、非常ニ必要デアリマシテ、産業界全體ノ心構ヘガ、戰時ニ相應シク變ツテ行カナケレバナラナイト云フコトハ、言ヲ俟タナイノデアリマス、私ハ今日ノ狀況ニ於テ、全體ガ時局ヲ十分ニ認識シテ、サウシテ所謂心構ヘトシテヘ、誰モガ皆必要ナ物ノ増産ニ邁進シヨウト云フ熱意ニ燃エテ居ル譯デアリマス、隨テサウ云フコトヲ取上ガルヨリモ、寧ロ現實ノ問題ヲ解決スルト云フコトニ、專念スル必要ガ非常ニ多イト思ヒマス、此ノ見地力ラ統制會ト云フモノヲ見マスト、色々統制會ニ付テ現在ノ實情ニ副ハナイ點モアルノデアリマス、是等ニ付テハドシ／＼改善ヲシテ行ク、例ヘバ、是ハ私決シテ一ツノ理念トシテサウ云フコトヲ初メカラ申シタ譯デヤナイノデアリマスガ、今デモ同ジコトヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、統制會ノ會長ノ専任論ガアルノデアリマス、私ハ第一次ノ指定ヲ致シマス時ニ、原則トシテ統制會會長ト云フモノハ専任ガ宜イト云フコトヲ考ヘマシテ、當時全部ノ方ニ専任ニナツテ貰ツタ譯デアリマス、今日モヤハリ同ジヤウニ考ヘテ居リマス、併シ鐵鋼部門ニ於テ最近會長ガ更迭致シマシテ、日鐵ノ社長ヲ兼任ノ儘會長ニ致シテ居リマスガ、是ハ別ニ理論ヲ變ヘタ譯デモ何デモナイ、ヤハリ原則トシテ統制會會長ガ専任デアルト云フコトガ適當デアルト云フコトハ、今デモ考ヘテ居ル、併シナガラ現實ノ問題トシテ、鐵鋼統制會ヲドウシタガ宜イガト云フコトヲ考ヘルト、兼任デヤツタ方ガ適當デアルト云フコトカラ、原則ニ對シテ例外ヲ認メテ來テ

居ルヤウナ譯デアリマス、隨ヒマシテ今後生産增强ノ實ヲ擧ゲテ行ク上ニ於テ、統制會其ノモノヲ全面的ニ活用スル、之ヲ強化シテ行ツテ、ソコニ業界ノ創意ト工夫ガ十分ニ活用サレルト云フコトハ期待致シテ居リマスガ、ソレニ必要ナ改善ヲ加ヘナケレバナラヌトスルナラバ、現在ノモノニ改善ヲニ對シテ行キタイト思ツテ居リマス○  
○水谷委員 サウスルト兎ニ角統制會ニ色々ノ缺點モアルガ、商工當局トシテヘ、先ヅ此ノ統制會ヲ全面的ニ活用シテヤツテ行カレバウト云フヤウニ拜聽シタノデアリマス、ソレデ御伺ヒスルノデゴザイマスガ、昭和十六年十月十四日ノ定例閣議デ、御存ジノヤウニ統制會ニ關スル申合セガアツテ、ソレハ一カラハマデノ申合セニナツテ居リマスガ、私ハ是カラ見ルト、ドウモ其ノ時ノ勢ヒト、ソレカラ現在ノ統制會ニ對スル考ヘ方ト、熱ガ少シ冷メテ居ルヤウニ思フノデスガ、其ノ前ニ一寸御聽キスルノデスガ、斯ウ云フ工合ニシテ、大キナ國ノ根本的政策ヲ閣議デ申合セヨシタ時ニハ、一體ドノ程度ノ拘束力ヲ各省大臣ニ持ツテ居ルノデアリマスカ、ソレヲ先ヅ御伺ヒシタイ○  
○岸國務大臣 閣議ノ各大臣ニ對スル拘束力ト云フモノハ、是ハ内閣ニ於ケル政治力ト云フモノニ非常ニ關係ヲ持ツテ居ルモノダト思フノデス、法律的ニ何處マデ拘束力ガアルカト云フ問題ニナルト、法律的ニ言フ譯デアリ、現内閣ニ於併シナガラ實際何處マデ拘束力ガアルカトヘバ閣議ト云フモノハ拘束力ハナイト思フ、キマシテハ、閣議決定ト云フモノハ、各大

○水谷委員 是デ大體閣議ノ申合セニ依リ  
マシテ、其ノ當時ニ於ケル統制會ニ對スル  
政府ノ所謂理想ト申シマスカ、考ヘ方ト云  
フモノガ非常ニハツキリシテ居リマシテ、  
大體之ヲ基準ニ致シマシテ、現在ノ統制會  
ヲ眺メル一ツノ物差ニナルノヂヤナナイカト  
思フノデス、ソレデ商工大臣ハ統制會ヲ全  
面的ニ活用スルト云フコトヲ言ハレタノデ  
ゴザイマスガ、ソレデハ現在ノ統制會ヲモ  
ウ少シ強ク育成スルニハ、一體ドウシタラ  
宜イカ、或ハ營團ニセヨトカラ色々々理窟ガア  
ルガ、少クトモ現實ノ問題トシテ、統制會ヲ全  
面的ニ活用スル爲ニ、強化スル爲ニハ、一體  
商工大臣トシテハ、ドウシタラ宜イカト云  
フ此ノ點ヲ、ハツキリ御教へ願ヒタイト思  
ヒマス

次ニ政府ガ統制會強化ニ對シテ全面的ニ協力ヲスル、ソレハドウ云フコトカト言ヘバ、第一段ニ考へラレテ居ルコトハ、權限移譲ノ問題デアリマス、是ヘ統制會ヲ初メニ決メシタ時ニ方針ハ決マツテ居リマスガ、此ノ統制會ニ對スル權限移譲ノ問題ニ付キマシテモ、色々ナ議論ガアツタノデアリマスガ、私ハ商工省ニ關スル限り、所謂漸進主義ヲ執ラズシテ、寧ロ統制會ニ移譲スペキモノニ付キマシテハ全部移譲スル、移譲スペカラザルモノハ、幾ラ經ツテモ移譲シナイト云フ方針ノ下ニ、大體移譲スペキモノニ付テハ移譲シテ居ルノデアリマス、併シ政府全體ノ立場カラ申シマスト、統制會自體ト現實ニ接觸ヲ持チ監督シテ居ル者ガ商工大臣ニアリマス爲ニ、他ノ方面ニ於キマシテハ統制會ノ現狀ガ十分ニ分ラナイ嫌ヒモアルシ、隨テ權限移譲ヲスルニ付キマシテモ、多少ノ危ナ氣ナ懸念モアルト云フヤウナコトカラ、政府全體トシテハ漸進的ナ態度ガ執ラレテ居リマスケレドモ、商工省ニ關スル限りニ於キマシテハ、サウ云フ方針ニ於テ權限移譲ヲナシテ參ツタノデアリマス、併シ鬼ニ角政府全體ガ是ノ強化育成ニ對シテ、政府ノ方面カラ協力シ、之ヲ指導スルト云フ此ノ三ツノ部面カラ、統制會ヲ強化シナケレバナラヌ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

一年程前ノ新聞デ見タノデスガ、兵器、軍機密ニ屬スルモノヲ除イタ軍需、又ハ軍管理工場關係ノ生産ヲ一元的ニ統制會ニ譲ル、是ハ陸軍當局カラモ、海軍當局カラモ發表ニナツタト思ヒマス、既ニ閣議デ申合ハサレマシテ、モウ一年ニナルノデスガ、一體是等ハドウ云フ經緯デ停頓シテ居ルノデアルカ、更ニ又はマデ閣議デ當然權限移讓ヲスルト云フコトヲ申合セニナツテ居ツテ、未ダニ權限ヲ移讓サレナイモノハ、今度ノ此ノ法律ニ依ツテ解決出來ルモノカドウカト云フ點ニ關シテ御伺ヒマス

○岸國務大臣 權限移讓ノ問題ハ實ヘ今度ノ法律ニ關係ナク政府トシテハヤラウトスレバヤレルコトニアリマシテ、又漸次先程申シマシタヤウニ漸進的ニヤツテ行ク考ヘノ下ニ、商工省ノモノハ先づ權限移讓スル、商工省ト同時ニ鐵道關係ノモノモ、鐵道軌道統制會ニ相當廣範圍ノ移讓ヲヤル、又勞務ノ問題ニ付テハ現ニ其ノ手續ガ進メラレテ居ルヤウナ狀態デアリマス、資金ノ部面ニ於ケル資金調整令ヤ或ハ經理統制令ニ關スル權限ニ付キマシテモ、政府部内トシテハ考究ヲ致シテ居リマス、併シソレハ此ノ法律トハ關係ナクナサレルノデアリマス、唯此ノ法律ガ出ルト云フコトヘ、機運的ニサウ云フ事柄ヲ促進スル一ツノ力ニハナルト考ヘマス

○水谷委員 ソコデ少シク統制會ノ強化問題ニ付テ、具體的ニ御伺ヒシタイト思ヒマス、先づ會長ノ問題デアリマスガ、此ノ會長ノ權限ト致シマシテヘ、大體生産配給ノ割當或ハ制限禁止ノ例外許可ノ權限、企業許可、サウ云フモノノヤウニ了承シテ居ルノデアリマス、ソコデ若シ今度鐵ナラ鐵ト云フ

問題ノ増強ヲバ、商工省ガ統制會ニ御任セニナルト云フ時ニ、會長ノ人事權ト申シマスカ、從來ノ例ニ依リマスレバ、法令ニ違反シタ場合又統制ヲ妨ギル行爲ガアツタ時ニハ、會長ノ人事權ガ發動スルニヤウニナツテ居ルト了承シテ居ルノデアリマス、ソコデ少クトモ今度ノ斯ウ云フ法案ガ通過シタ場合ニ於キマシテハ、積極的ニ是レヽノ者ハ生産増強ニ不適任デアルト會長ガ認メタ時ニハ、サウ云フヤウナ者モ自由ニ首ガ誠レルト云フヤウナ所マデ、權限ガ大キクナツテ行カナケレバナラスト思フノデアリマスガ、此ノ會長ノ人事權ニ付キマシテ、商工大臣ノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマス

○岸國務大臣　會長ノ、其ノ統制會ヲ組織シテ居ル所ノ會員タル企業ノ役員等ノ人事ニ對スル權限ノ問題ニ付キマシテハ、現在或ル特定ノ場合ニ於キマシテハ、之ニ對シテ解任ニ付テノ規定ガアリマスガ、是レ以上ニ擴ゲテ、非常ナ廣イ範圍ニ於テ會長ノ、會員タル企業ノ役員等ニ對スル人事權ノ問題ニ付キマシテハ、今日ノ所、實ハマダ考ヘテ居リマセヌ、私ハ實際ノ問題トシテ、會長ノ其ノ業界ニ對スル政治的ノ指導力ニ依リマシテ、現實ノ問題カラ云フト相當ナ「インフルエンス」ヲ與ヘルモノダト思ツテ居リマス、併シ法規的ナ根據ヲ以テ人事ニ對スル強イ權限ヲ與ヘルカドウカト云フコトニ付テハ、今日ノ所、サウ云フ權限ヲ與ヘル意思ハ持ツテ居リマセヌ

○水谷委員　此ノ會長ノ專任制ト云フモノハ、是ハ原則ダト思フ、例外ノ場合ニ鐵鋼専任制ニコダハラナイ方ガ宜イノデハナカ、斯ウ私ハ思フ、其ノ理由ハ、大體此ノ頃

モ是ハ現場認識ヲ徹底サセナケレバナラヌト云フヤウナコトガ、統制會ニ對スル一ツノ非難ト申シマスカ、大キナ要望ノ一ツニナツテ居ルト思ヒマス、私ハ鐵鋼會ニ於キマシテ、何故專任制ニ例外ヲ御認メニナツタカト云フ其ノ事由ハ詳カニ知リ得マセヌガ、私ハ專任制ニ餘リコダハルベキデハナイト思フ、其ノ理由ハ、曩ニ統制會強化ノ三大原則ノ一ツトシテ、業界ノ協力ト云フコトヲ御求メニナリマシタガ、大體一ツノ會社ナラ會社ヲ大キク育テ上ゲテ行ク、鐘紡ナラ鐘紡ヲ大キク育テ上ゲテ行クト云フ時ニ、如何ニ統制會ノ必要ヲ感ジテモ、其ノ長間育テテ來タ鐘紡ヲ離レテ、自分ガ會長ニナルト云フコトハ中々出來ニクイノデハナイカト思フ、サウ云フ點カラ是マヂノ統制會ノ會長ト云フモノヲ眺メテ見ルト、失禮デアリマスガ、一流ノ人物デハナク、二流、三流ト云フヤウナ人ガ出テ來テ居ルヤウナ嫌ヒモナイデモナイ、ダカラ斯ウ云フヤウナ時ニハ、專任制ニコダハラズニ、ソレヲ會長ニスレバ、一ツハ統制會ノ官僚化モ防ガルコトニモナリ、一ツハ業界ノ協力、或ハ人物ヲ求メルコトガ出來ル、今一ツハ、私ガ何故斯ウ云フヤウナコトヲ申上ゲルカト云フト、豫算總會ニ於キマシテ、統制會ノ役員ガ高給ヲ食ンデ居ル、ソレニ對シテアナタデシタカ、農林大臣デシタカ、民間ノ人ハ是マヂノ收入ト比較シテ考ヘルト、ドウシシテモアア云フ額ニナルノダト云フ御答辯ガアリマシタガ、私ハ之ヲ專任制ニスレバ、サウ云フコトハ解決出來ルノデハナイカト思フ、一ツノ會社ノ社長ヲ兼ネテ居リ、サウシテ之ヲ統制會ノ會長ニスル、其

ノ統制會ノ會長ハ無給デ宜イ、アメリカハ  
物質主義デアルト言ツテ吾々ハ攻撃シテ居  
ルガ、「ワングラーシステム」、或ハ「ワング  
ラーマン」ト申シマスカ、一つノ產業ナラ產業  
ニ關スル全權ヲ「エー」ナラ「エー」ト云フ人ニ與  
ヘル、其ノ人ヘ給料ハ一週ニ「ワングラーマ  
シカ貰ハナイ、併シソレニ對スル權限ハ、  
自分ノ思フ通リニヤツテ行クト云フ所ニ、  
一つノ特色ガアルヤウニ私ハ聞イテ居ルノ  
デアリマス、所ガ日本ノ是マデノ統制會ノ  
連中ニハ、月給ハ餘計ヤルガ、權限ハ餘り  
移譲シナイト云フ逆ナヤウナ歩ミ方ラシテ  
居ル、是ハ專任制ニ餘リコダヘラナイデ、  
社長ヘ社長デ、自分ノ育テノ會社デ相當高  
給ヲ貰ツテ居ル、事統制會ニ關スル限りハ  
「ワングラーマン」トナツテヤル、俺ハ只デ働  
クノダカラ、官廳モウント權限ラ寄越セ、  
自由ニヤラセロト云フ工合ニ出來ルノデハ  
ナイカト思フ、斯ウ云フ點カラ考ヘマシテ、  
原則トシテ統制會ノ會長ハ專任制デアルト  
云フガ、先ニ申シマシタ事情カラ申シマシ  
テ、是ハ獨リ鐵鋼界ダケデハナイ、他ノ場面  
ニ於キマシテモ餘リコダハラヌ方ガ宜イデハ  
ナイカ、折角御決メニナツタ專任制ノ規定ヲ  
直グ削ルト云フコトニナルトはハナンデスガ、  
運用ノ上ニ於テハ以上ノ理由デコダハラナ  
イ方ガ宜イデハナイカト思フ、之ニ對スル  
商工大臣ノ御考へ如何

テコダハツテ居ル積リモ實ヘナイノアリ  
マシテ、専任ガ適當ダト見レバ専任ニシ  
兼任ガ適當デアレバ兼任デ行ク、私ハ日本  
ノ實情カラ言フト専任ノ方ガ望マシノイデ  
ハナイカ、斯ウ思フノデス、其ノ理由ハ、  
統制會ト云フモノハ非常ナ權限ヲ持ツテ居  
ル、今マデハ權限ガ渡シテナイト云フコト  
デアリマスガ、從來ニ於テモ統制規定ニ於  
キマシテ相當ナ權限ヲ持ツテ居リマス、勿  
論統制會ト云フモノハ、從來ノ統制會社ヤ  
又ハ統制組合、其ノ他各種ノ統制ニ關スル  
團體トハ本質ヲ異ニシテ居リマシテ、從來  
ノモノハドチラカト言ヘバ、業者ノ共同利  
益ヲ擁護スルト云フヤウナ沿革ヲ持ツテ  
此ノ統制經濟ニナツテ、所謂「カルテル」的ナ  
性質ヲ持ツテ居ルモノニ公共的ナ統制ノ權  
限ガ附加サレタト云フヤウナ沿革ヲ持ツテ  
居ルノデアリマス、所ガ統制會自身ハ成立  
ノ初メカラ公共的ナモノデアリマシテ、而  
モ業界全體ノ利害ニ付キマシテハ、最近ハ  
非常ニ變ツテ參リマシタガ、併シ最初ニ於  
テハ、一ツノ例ヲ舉ゲテ考へテ見マスルト、  
從來鐵鋼ニ關スル鐵鋼協議會トカ、或ハ鐵  
鋼ニ關スル各種ノ團體ガアリマシタガ、ソ  
レト鐵鋼統制會トノ本質的差異ト云フモノ  
ガ業界ニハツキリ認識サレテ居ツタカト云  
フト、必ズシモサウデナイ、サウ云フ際ニ非  
常ニハツキリシタ認識ヲ與ヘル爲ニハ、ヤ  
ハリ會長ヲ專任制ニスルコトノ方ガ、其ノ  
統制ノ權限ヲ公正ニ行ツテ行ク上ニ於テ都  
合ガ好イ、又本人ガ必ズシモ不公正ニ行フ  
譯デハアリマセヌケレドモ、世間全體ガ公  
正デアルト云フ信賴ヲ持ツ爲ニハ、ヤハリ  
關係ヲ持タナイ方ガ宜イ、是ハ現狀ガ大體  
ニ於テマダサウ云フ狀況デアルト思フノデ

アリマス、併シソレハ最近餘程事情モ變ツテ來テ居ルノデアリマシテ、私自身サウダハツテ居ル積リハナインデアリマス、是モ其ノ業界ニ適シタ形態デ行キタ、斯ウ思ツテ居リマス

○水谷委員 統制會設立ノ當時、或ハ又昭和十六年十月時分ノ環境カラ行キマスレバ、サウ云フ御考へハ尤モデアツタト思ヒマスガ、モウ既ニ大東亞戰爭ニ突入シ、今年ガ乗ルカ反ルカト云フ場合ニ於キマシテハ、只今商工大臣ガ言ハレタヤウナ御懸念ヘ私ハナイノデハナイカト思ヒマス、デスカラ其ノ點ハ能ク御考へヲ願ヒタインデアリマスガ、ソレデハ統制會ノ會長ト云フモノヲ專任制ニシ、サウシテ又權威ヲ持タスト云フコトニナリマスト、其ノ身分關係ハ一體ドウ云フ風ニ解決サレルカ、初々統制會長ノ待遇ハ親任官待遇ニスルカ、勅任官待遇ニスルカトカ、色々ナコトヲ言ハレタノデアリマスガ、若シ今後統制會ノ會長ノ專任制ト云フモノヲル程度貫イテ行クナラバ、此ノ身分關係ニ付テモ或ル程度御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對スル御考へ如何デスカ

クコトハ當然デアラウト思ヒマス、今日昌體的ニドウスルト云フコトヲマダ申上ゲレナイコトヲ遺憾トシマスケレドモ、サニ云フ考ヘデ居リマス

○水谷委員 次ニ統制會ノ事業ニ付キマシテ統制會ニ經濟行爲ヲ許セト云フヤウナドコトモ言ハレテ居リマス、例ヘバ資材ナドノ問題ニ關シテモ、統制會自ラガ自分デ買ツテヤツテ行ク、從來ノヤウニ切符ナラ切符ト云フダケノ範圍内デナク、時ト場合ニ依ツテハ損益處分ヲ伴ウタ、サウ云フ經濟行爲ヲ統制會ニ與ヘルベシト云フ說ガ相當ニ行ハレテ居ルノデアリマスガ、是ハ統制會ノ強化ノ問題ノ側カラ見テ、統制會ニ斯様ナ經濟行爲ヲ御許シニナル御考ヘハナカドウカ、例ヘバ今度ノ商工組合法案ニ付キマシテモ、ヤハリ統制場面、施設場面ト云フモノガ二大中心ニナツテ居リマスガ、アノ考ヘ方ヲシテ行キマスレバ、此ノ統制會ニ於テモ經濟行爲ハ、弊害ガナケレバ或ル程度許サレル方ガ宜イノデハナイカト思ヒマスガ、其ノ點如何デスカ

○岸國務大臣 今日ノ所統制會ニ經濟行爲ヲ許スカ許サナイカト云フ議論モアリマスガ、私ハ統制會自體ニ經濟行爲ヲ認メルト云フコトハ、今日ノ所デハ適當ノヤウニ思ハナイノデアリマス、統制會ノ下部機構トシテハ、色々ナ會社等ノ何デ經濟行爲ヲ營ンダモノガアリマス、唯今度ノ商工組合法案ニ於テアア云フ構成ヲ執ツテ居リマスノハ、大體アレハ中小企業ヲ客體トシテ考ヘテ居ル、中小企業ノ統制ト云フ事柄ハ、經濟行爲ト殆ド不可分ニ行ツテ行キマセヌト、從來ノ實例カラ見テモ旨ク行カナイ、例ヘ

共同販賣ノ形デヤルトカ、或ハ資材、原料ノ配給ニシマシテモ、ヤハリ共同購入ノ形デヤルト云フコトデナイト、ドウモ統制ノ結果ガ旨ク行カヌ、之ニ反シテ統制會ノ機構ノ下ニ於キマシテハ、從來ノ實例ニ見テモ、統制會自身ニ經濟行爲ヲヤラセマセヌデモ、統制會ノ下部機構タル各種ノ統制會社等ヲ使ツテヤルコトニ依ツテ十分ナル目的ガ達セラレテ居ルヤウニ思フノデアリマス、統制會自身ヲ人的ニモ、機構的ニモ非常ニ複雜デ厖大ナルモノニスルト云フ事柄ハ、一面ニ於テ私ハ避ケタ方ガ宜シヤウニ思フノデアリマス、出來ルダケ簡素ニ、而モ必要ナル所ニハ必要ナルモノガ強力ニ行クト、云フヤウニスル、統制會自身ノ仕事ハ權限移讓ニ依ツテ相當厖大ニハナリマスケレドモ、成ベク簡素ニシテ置ク、サウシテドウシテモ已ムヲ得ナイモノ、今ノ經濟行爲ノ如キハ下部機構ヲ用ユルコトニ依ツテ十分目的ハ達セラレル、斯様ニ思ツテ居リマス。

○水谷委員 ソレカラ統制會ノ強化ノ問題ト致シマシテ、是ハ前ニ同僚議員ノ中西君モ少シ御觸レニナツタノデアリマスガ、官廳ト統制會ノ人事ノ交流ノ問題デアリマス、モ少シ御觸レニナツタノデアリマスガ、官廳ト統制會ノ人事ノ交流ノ問題デアリマス、

今後人事ノ交流サレル時ニ官廳カラ統制會ニ行ク、サウシテ二年ナラ二年勤メレバ又官廳ニ戻ルト云フヤウニサレレバ、私ハ非常ニ效果ガアルノデハナイカト思ヒマス、所ガ從來ノ所謂天降リノ人事——人事交流ト云フコトト、天降リ人事トハ私ハ相當區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、天降リ人事物ト云フノハ、其ノ官廳デ不要ニナツタ人ガ民間會社ニヤツテ來テ、而モ自分ノ育テタ民間事業ヘヤツテ來ルト云フノデ、色々ノ弊害ガアルノデスガ、其ノ官廳デモ是ハ

長イ間官ノ飯ヲ食ツテ居ツクカラ、少シ民間ニ行ツテ修業シテ來テ、サウシテ又戻ル——アナタガ今日立派ナ大臣ガ勤マルノモヤハリ次官ヲ御辭メニナツテ、浪人シテ居ラレタカラ、非常ニ民間ノ事情ニ詳シイ(笑聲)ソレト同ジヤウニ人事ノ交流ト云フコトハヤハリ官界デ、商工省ナラ商工省デ非常ニ「エキスパート」ノ者ヲ統制會ニヤル、サウシテ一つノ仕事ヲヤツテ民間ノ空氣ヲ能ク知ツテ官廳ニ戻ル、或ハ民間ノ立派ナ人トカ、統制會ノ連中モ官廳ニ行ツテ二年ナリ三年ヤツテ、又統制會ニ戻ツテ來ルト云フ風ニナレバ、官ハ官ノ缺點ガ補ハレ、民ハ民ノ缺點ガ補ハレル、サウシテ官ハ自分ノ特長ヲ活カシ、民ハ自分ノ特長ヲ活カスト云フ工合ニシテ、所謂人事ノ交流ト云フコトハ天降リ人事トハツキリ區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、今後ドン——人事ノ交流ヲヤラネバイカスト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ必ず又元ノ官廳ニ戻レル、所謂滿洲國ノ官吏ヲヤツテ、又コチラニ戻レルト云フヤウニナレバ相當「エキスパート」ノ人事ノ交流ガ出來ナイカト思フノデスガ、此ノ點ニ關スル商工大臣ノ御意見ヲ承りタイ

○岸國務大臣 只今天降リ人事ト、人事交流トノ差別ニ付テ明快ナ區別ノ御話ガアリシタガ、正ニ其ノ意味ニ於テ私ハ人事交マシタガ、正ニ其ノ意味ニ於テ私ハ人事交云フコトト、天降リ人事トハ私ハ相當區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、天降リ人事物ト云フノハ、其ノ官廳デ不要ニナツタ人ガ民間會社ニヤツテ來テ、而モ自分ノ育テタ民間事業ヘヤツテ來ルト云フノデ、色々ノ弊害ガアルノデスガ、其ノ官廳デモ是ハ

「エキスパート」トシテ是非要ル、併シナガラノ横ノ連絡ヲ一體ドウサレルカ、從來商工當局ノ御意向ニ依レバ、横ノ連絡ヨリ今ノ統制會ヲ擴大強化スルノガ、是ガ本旨ハヤハリ次官ヲ御辭メニナツテ、浪人シテ居ラレタカラ、非常ニ民間ノ事情ニ詳シイ(笑聲)ソレト同ジヤウニ人事ノ交流ト云フコトハヤハリ官界デ、商工省ナラ商工省デ非常ニ「エキスパート」ノ者ヲ統制會ニヤル、サウシテ一つノ仕事ヲヤツテ民間ノ空氣ヲ能ク知ツテ官廳ニ戻ル、或ハ民間ノ立派ナ人トカ、統制會ノ連中モ官廳ニ行ツテ二年ナリ三年ヤツテ、又統制會ニ戻ツテ來ルト云フ風ニナレバ、官ハ官ノ缺點ガ補ハレ、民ハ民ノ缺點ガ補ハレル、サウシテ官ハ自分ノ特長ヲ活カシ、民ハ自分ノ特長ヲ活カスト云フ工合ニシテ、所謂人事ノ交流ト云フコトハ天降リ人事トハツキリ區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、今後ドン——人事ノ交流ヲヤラネバイカスト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ必ず又元ノ官廳ニ戻レル、所謂滿洲國ノ官吏ヲヤツテ、又コチラニ戻レルト云フヤウニナレバ相當「エキスパート」ノ人事ノ交流ガ出來ナイカト思フノデスガ、此ノ點ニ關スル商工大臣ノ御意見ヲ承りタイ

○水谷委員 其ノ次ニ御尋ねシタイノハ、モアラウト思ヒマス、隨テ重要產業協議會ガ現實ニ色々ナ横ノ連絡ヲ致シテ居リマス、唯此ノ問題ニ付テハツキリ考ヘナケレバナラス問題ハ、統制會ノ斯ウ云フ言葉ヲ用ヒラレテ居リマスガ、各單位統制會ノ上ニモウ一ツソレヲ包括スル所ノ機構ヲ作ツテ、是ガ全產業界ニ對シテ強イ一ツノ統制力ヲ持ツ中央機關トシヨウト云フヤウナ考へ方モアルノデアリマス、此ノ考へ方ハ非常ニ間違ツテ居ルノデ、統制會自體ガ各種ノ產業部門ニ付テ、其ノ會長ト云フモル——アナタガ今日立派ナ大臣ガ勤マルノモヤハリ次官ヲ御辭メニナツテ、浪人シテ居ラレタカラ、非常ニ民間ノ事情ニ詳シイ(笑聲)ソレト同ジヤウニ人事ノ交流ト云フコトハヤハリ官界デ、商工省ナラ商工省デ非常ニ「エキスパート」ノ者ヲ統制會ニヤル、サウシテ一つノ仕事ヲヤツテ民間ノ空氣ヲ能ク知ツテ官廳ニ戻ル、或ハ民間ノ立派ナ人トカ、統制會ノ連中モ官廳ニ行ツテ二年ナリ三年ヤツテ、又統制會ニ戻ツテ來ルト云フ風ニナレバ、官ハ官ノ缺點ガ補ハレ、民ハ民ノ缺點ガ補ハレル、サウシテ官ハ自分ノ特長ヲ活カシ、民ハ自分ノ特長ヲ活カスト云フ工合ニシテ、所謂人事ノ交流ト云フコトハ天降リ人事トハツキリ區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、今後ドン——人事ノ交流ヲヤラネバイカスト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ必ず又元ノ官廳ニ戻レル、所謂滿洲國ノ官吏ヲヤツテ、又コチラニ戻レルト云フヤウニナレバ相當「エキスパート」ノ人事ノ交流ガ出來ナイカト思フノデスガ、此ノ點ニ關スル商工大臣ノ御意見ヲ承りタイ

○岸國務大臣 統制會ノ横ノ連絡ノ問題ニ付キマシテハ私實際上其ノ横ノ連絡ハ必要モアラウト思ヒマス、隨テ重要產業協議會ガ現實ニ色々ナ横ノ連絡ヲ致シテ居リマス、唯此ノ問題ニ付テハツキリ考ヘナケレバナラス問題ハ、統制會ノ斯ウ云フ言葉ヲ用ヒラレテ居リマスガ、各單位統制會ノ上ニモウ一ツソレヲ包括スル所ノ機構ヲ作ツテ、是ガ全產業界ニ對シテ強イ一ツノ統制力ヲ持ツ中央機關トシヨウト云フヤウナ考へ方モアルノデアリマス、此ノ考へ方ハ非常ニ間違ツテ居ルノデ、統制會自體ガ各種ノ產業部門ニ付テ、其ノ會長ト云フモル——アナタガ今日立派ナ大臣ガ勤マルノモヤハリ次官ヲ御辭メニナツテ、浪人シテ居ラレタカラ、非常ニ民間ノ事情ニ詳シイ(笑聲)ソレト同ジヤウニ人事ノ交流ト云フコトハヤハリ官界デ、商工省ナラ商工省デ非常ニ「エキスパート」ノ者ヲ統制會ニヤル、サウシテ一つノ仕事ヲヤツテ民間ノ空氣ヲ能ク知ツテ官廳ニ戻ル、或ハ民間ノ立派ナ人トカ、統制會ノ連中モ官廳ニ行ツテ二年ナリ三年ヤツテ、又統制會ニ戻ツテ來ルト云フ風ニナレバ、官ハ官ノ缺點ガ補ハレ、民ハ民ノ缺點ガ補ハレル、サウシテ官ハ自分ノ特長ヲ活カシ、民ハ自分ノ特長ヲ活カスト云フ工合ニシテ、所謂人事ノ交流ト云フコトハ天降リ人事トハツキリ區別シテ考ヘナクチヤイカスト思フ、今後ドン——人事ノ交流ヲヤラネバイカスト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ必ず又元ノ官廳ニ戻レル、所謂滿洲國ノ官吏ヲヤツテ、又コチラニ戻レルト云フヤウニナレバ相當「エキスパート」ノ人事ノ交流ガ出來ナイカト思フノデスガ、此ノ點ニ關スル商工大臣ノ御意見ヲ承りタイ

○水谷委員 其ノ次ニ御尋ねシタイノハ、モアラウト思ヒマス、統制會ノ上ニ上層機構ヲ考ヘルト云フ意味ニ於テ、横ノ連絡機關ト云フモノハ私ハ考ヘタクナ、斯ウ云フヤウナ意見デアリマス

デアリマスガ、私ノ申シマスノハ、所謂商工省ガ強イ横ノ連絡ト共ニ、一段上ノ調整機關見タイナ役ヲナスベキデハナイカト云フコトノ意見デアル、即チ横ノ連絡トシテノ力ヲ本當ニ發揮出来ル機關ハ、ヤハリ一段上ノ調整機關トシテノ權力ヲ持ツタモノデナケレバナラヌ、況シテ今後ノ——從來ノ統制會ノヤウニ單位統制會ヲ育テルト云少クトモ今度ノ場合ノヤウニ、鐵ハ統制會ニ任シテシマフ、サウシテ鐵ハ十八年度ニ何ボ出シテ貰フ、出來ナケレバ腹ヲ切ツテ死ンデシマハナケレバナラスト云フ程ノ狀態ニマデ置カレタ場合ニ於テ、ヤハリ私ハ横ノ連絡一段上ノ調整機關ヲ兼ねタ機關トシテ商工省ガ十分ノ機能ヲ發揮スベキデ其ノ點ハ如何デセウ

○岸國務大臣 大體御説ノ如ク考ヘテ居リマス、即チ横ノ連絡、先程申上ガマンタノモ實質的ナ連絡ハオ互ヒニヤル、ヤル事柄ハ勿論適當ダト思ヒマスガ、結局國家意思ニ從ツテノ連絡調整ト云フモノハ、是ハ商工大臣、其ノ他主務大臣ガ之ヲ行フ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 前ニ蠟山君モ翼政會、其ノ他ニ付テノ調査ニ基キマシテ一二點尋ネラレタノデアリマスガ、私ハ其ノ鐵鋼ノ部門ニ關シマシテ二ツノ點、價格ノ問題ト、鐵鋼統制ノ問題、此ノ二ツノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、是ハ鐵鋼モ石炭モ同じコトデ、ヤハリ今後モ補助金政策デ行クト云フコトハ、是ハ今更言フマデモナイノデアリマスガ、此處デ私ハモウソロ／＼商

工當局トシテハ、兩建政策ト申シマスカ、適正價格ト補助金政策トノ兩建政策ヲオヤリニナル時期デヤナイカト思フノデス、ト只今仰シヤツタヤウナ意見デアリマスガ、少クトモ今度ノ場合ノヤウニ、鐵ハ統制會出來ルダケ早ク適正價格ヲ發見スルト云フコトヲ言ハレタコトハ、商工大臣モ御存ジモ、差當リ補助金政策デ行ク、併シナガラ關シマシテ、就中生産増強ト直接關係シタ場面ニ於ケル補助金政策ノ缺點ト云フモノモ、前ニ商工大臣ガ御述ベニナリマシタヤウナ點デアリマスカラ、私ハ茲ニ諄ク言ハウトスルモノデハアリマセヌ、併シナガラ生産増強ノ立場カラ申シマシテモ、又政治上ノ問題カラ申シマシテモ、何時マデモ重要物資ニ對スル補助金政策一本デ行クト云フコトニハ多クノ疑問ガアラウト私ハ思ヒマス、鐵ナラ鐵ノ問題ニシテモ、是ハ國民生活ニ直接關係ガナイカラ、一時ニ上ゲテシマヘト云フヤウナ考ヘモ、是ハ取ラナイ、ダカラ補助金ガ年々額ガ上ツテ行クニ對比致シマシテ、適正價格ノ價格方面ニ於キマシテモ、例ヘバ上ゲナクテハナラナイ所ヲ、或ハ二ナラニヅツ徐々ニ上ツテ行ツテ、サウシテ一方ニ於テハ補助金、一方ニニ付テノ調査ニ基キマシテ一二點尋ネラレタノデアリマスガ、私ハ其ノ鐵鋼ノ部門ニ關シマシテ二ツノ點、價格ノ問題ト、鐵鋼統制ノ問題、此ノ二ツノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、是ハ鐵鋼モ石炭モ同じコトデ、ヤハリ今後モ補助金政策デ行クト云フコトハ、是ハ今更言フマデモナイノデアリマスガ、此處デ私ハモウソロ／＼商

方面ニ對シテハ、十ノモノヲ上ゲル時ニハ、非常ニ小刻ミニヤツテ行ク、少クトモコトヲ言ハレタコトハ、商工大臣モ御存ジモ、差當リ補助金政策ノ缺點ニ於キマシテモ、非當リ補助金政策ノ時ノ豫算デ、藤原商工大臣ノ補助金政策ヲオヤリニナル時期デヤナイカト思フノデス、ト申シマスノハ、御存ジノヤウニ石炭ノ問題ニ任シテシマフ、サウシテ鐵ハ十八年度ニ何ボ出シテ貰フ、出來ナケレバ腹ヲ切ツテ死ンデシマハナケレバナラスト云フ程ノ狀態ニマデ置カレタ場合ニ於テ、ヤハリ私ハ横ノ連絡一段上ノ調整機關ヲ兼ねタ機關トシテ商工省ガ十分ノ機能ヲ發揮スベキデ其ノ點ハ如何デセウ

○岸國務大臣 大體御説ノ如ク考ヘテ居リマス、即チ横ノ連絡、先程申上ガマンタノモ實質的ナ連絡ハオ互ヒニヤル、ヤル事柄ハ勿論適當ダト思ヒマスガ、結局國家意思ニ從ツテノ連絡調整ト云フモノハ、是ハ商工大臣、其ノ他主務大臣ガ之ヲ行フ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○水谷委員 前ニ蠟山君モ翼政會、其ノ他ニ付テノ調査ニ基キマシテ一二點尋ネラレタノデアリマスガ、私ハ其ノ鐵鋼ノ部門ニ關シマシテ二ツノ點、價格ノ問題ト、鐵鋼統制ノ問題、此ノ二ツノ點ヲ御尋ネシタイト思フノデアリマス、是ハ鐵鋼モ石炭モ同じコトデ、ヤハリ今後モ補助金政策デ行クト云フコトハ、是ハ今更言フマデモナイノデアリマスガ、此處デ私ハモウソロ／＼商

工當局トシテハ、兩建政策ト申シマスカ、適正價格ト補助金政策トノ兩建政策ヲオヤリニナル時期デヤナイカト思フノデス、ト只今仰シヤツタヤウナ意見デアリマスガ、少クトモ今度ノ場合ノヤウニ、鐵ハ統制會出來ルダケ早ク適正價格ヲ發見スルト云フコトヲ言ハレタコトハ、商工大臣モ御存ジモ、差當リ補助金政策ノ缺點ニ於キマシテモ、非當リ補助金政策ノ時ノ豫算デ、藤原商工大臣ノ補助金政策ヲオヤリニナル時期デヤナイカト思フノデス、ト申シマスノハ、御存ジノヤウニ石炭ノ問題ニ任シテシマフ、サウシテ鐵ハ十八年度ニ何ボ出シテ貰フ、出來ナケレバ腹ヲ切ツテ死ンデシマハナケレバナラスト云フ程ノ狀態ニマデ置カレタ場合ニ於テ、ヤハリ私ハ横ノ連絡一段上ノ調整機關ヲ兼ねタ機關トシテ商工省ガ十分ノ機能ヲ發揮スベキデ其ノ點ハ如何デセウ

○岸國務大臣 價格政策ニ付キマシテ、是ハ屢々言明ヲ致シテ居リマス通り、基礎物資ニ付キマシテハ——少クトモ鐵鋼ト石炭ニ付キマシテハ、政府ハ當分價格補償ノ二重價格制度デヤツテ行クト云フ方針デ居リマス、今、一部ヲ政府ガ負擔シ、一部ヲ消費者ニ轉嫁スルト云フ方法ガ宜イデヤナイカト云フ御提案デアリマスガ、是ハツノ御提案トシテ十分ニ考究ヲシナケレバナラヌ點デアリマスルガ、其ノ場合ニ、良イ面ヲ見マスレバ、今御話ノ通りノ效果モアラウト思ヒマスガ、一面此ノ兩建ノ制度ハ私共モ從來研究モ致シテ來タノデアリマスガ、兩建ノ制度ニハ、兩建デアルダケ兩方トモ不徹底デアル爲ニ、價格ノ點ニ於テモ適正價格ニハナリ切ツテ居リマセヌカラ、價格

社デヤツテ行ク、サウシテ統制會ト云フ  
ノヨリモ、モウ少シ強度ノ統制ヲ利カスヤ  
ウナ一本ノ會社ニ纏メラレル、他ノ總テノ  
群小會社モ一本ノ會社ニ纏メテヤツテ行ケ  
ト云フヤウナコトヲ質問サレテ居ルノデア  
リマスガ、之ニ關シマシテ商工大臣ノ御考  
ヘヲ一寸承リタイ

モ、十分統制ノ實行ガリ得ルモノト思ツ  
テ居リマスノデ、統制會ノ強化ニ依ツテヤ  
ルト云フコトノ方ガ捷徑ダト云フ風ニ思ツ  
テ居リマス  
○水谷委員 時間ノ都合上最後ニ二ツノ問  
題ヲ一時ニ聽イテ置キマスガ、言葉カラ申  
シマスト、生産ノ責任性ト申シマスカ、ソ  
レト利潤問題ニ關シテ一寸簡單ニ御聽キシ  
テ置キタイト思ヒマス、今度鐵ナラ鐵、石  
炭ナラ石炭、ソレカラ輕金屬ト云フ風ニシ  
テ、大體ノ權限ヲ統制會ニ任サレルト云フ  
コトニナリマスト、ドウシテモ茲ニ所謂生  
產ノ責任制ト云フコトヲ制度ノ上ナクテ  
モ、或ル程度ノ強サヲ以テ考ヘナクテハナ  
ラヌカト思フノデゴザイマス、私ガ此處デ  
申上ゲルマデモナク、今ヤ日本ノ決戰體制  
ト云フモノハ、前線ト銃後ノ產業場面トヲ  
切離シテ考ヘルコトガ出來ナイ程逼迫シテ  
居ル所ノ事情デゴザイマシテ、少クトモ鐵  
ナラ鐵ト云フモノヲ任サレタラ統制會ガ、計  
畫サレタ所ノ生産量ヲ能ク増出シナイト云  
フコトニナルコトハ、是ハ直グニ前線ニ響  
ク所ノ大キナ問題デゴザイマス、言葉ヲ換  
ヘテ申シマスレバ、與ヘラレタ生産量ニ達  
シナイト云フ場合ハ、モウ直接其ノ儘敵ヲ  
利スルト云フヤウナ行爲ニナルノデアリマシ  
テ、茲ニハツキリシタ責任制ト云フモノヲ以テ、責  
任ヲ持タサナイト云フコトハ、今日ノ日  
本ノ情勢カラ許サレナインゾニアリマス、ハ  
ト私ハ思ヒマス、一方ニ於キマシテ大キナ  
權限ヲ統制會ニヤル、唯權限ダケヤツテ何等  
責任ヲ持タサナイト云フコトハ、今日ノ日  
生産ノ上ニ確立セネバナラヌノデハナイカ  
ト私ハ思ヒマス、一方ニ於キマシテ大キナ  
タ時ニハ斯ウ云フ風ナ制裁ガアルト云フ

トヲ、制度ノ上テ決メルト云フコトハ中々  
難カシイノデアリマスガ、制度ニモ優ツタ  
力強イ決メ方デ、此ノ點ヲハツキリセネバ  
ナラヌト思フノデアリマス、今度假ニ商工  
省ニ鐵鋼、石炭、輕金屬ト云フモノガ全權  
ヲ任サレタ場合ニ於テ、統制會ト商工省ト  
ノ間ノ生産ノ責任制ト云フコトニ關シテ、  
ドウ云フ御考ヘヲ以て對處サレルカト云フ  
點、ソレカラモウ一つハ重點產業ノ利潤問  
題ニ關シテ御聽キシタイト思フノデアリマ  
スガ、一方ノ立場カラ申シマスレバ、此ノ  
際斯ウ云フ問題ニ對シテ利潤ナンカ言フベ  
キ時期デハナイ、法外ノ利益ガアツテモウ  
ント出セバ宜イデハナイカト云フ考ヘノア  
ル人モ事實デアラウト思フノデアリマス、  
併シナガラ斯ウ云フヤウナ基礎物資ノ所謂  
利潤問題ト云フモノハ、經濟的ナ場面ト社  
會正義ノ場面カラ、吾々ハ考ヘナケレバナ  
ラヌノデアリマスガ、經濟的場面カラ申シ  
マスレバ、直グニ低物價政策ニ衝突シテ來  
ル、更ニ又社會正義ノ場面カラ申シマシテ  
モ、他ノ犠牲產業、更ニ又前線ノ將兵ノ諸  
士ノ勞苦ト云フヤウナ點カラ考ヘマシテモ  
無制限ニ利潤下云フモノヲ認メルコトハ出  
來ナイト思フノデゴザイマス、隨テ私ハス  
ウ云フヤウナ大キナ基礎產業ニ對シマシテ  
ハ、商工當局ノ方デハ宜シク適正利潤ト云  
クモノヲ、ハツキリト御決メニナラナケレ  
バナラヌノデハナイカト思ヒマス、私が此  
處デ言フマデモナク、大體參戰國ノ色々ナ  
クモノヲ、ハツキリト御決メニナラナケレ  
ノ方法ヲ採ツテ居ルヤウデス、一つハ所謂  
國家管理ニシテ、利益ナンカヲ國民ニ興ヘ  
ナイト云フヤウナ方法ヲ採ツテ居リマス、  
今一つハ何ボデモ儲ケル、其ノ代リウント

税金ヲ課ケヨウト云フヤウナ方法ヲ採ツテ  
居リマス、或ハ「イギリス」ノ如キヘ戰時利  
得税百「パーセント」——餘りソレデハヒド  
イト云フノデ、二十一「パーセント」ヘ戰後ニ  
返ストフ云コトニシタガ、兎ニ角百「パーセ  
ント」ト云フヤウナ行キ方ガアル、其ノ三ハ  
國家的計算ニ依ツテ國家ガ計算スル、其ノ  
中カラ一定ノ利潤ヲ與ヘヨウト云フヤウナ、  
大體三ツノ系統ヲ採ツテ、「イギリス」ノ如  
キハ原則トシテ配當ハ六「パーセント」、例外  
トシテ八「パーセント」マデ認メルトフ云  
コトニ致シマシテ、非常ニソレ、各國ガ  
苦慮シテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、豫  
算總會ナンカノ論ヲ見マスト、經理統制令、  
其ノ他ノ撤廢ト云フヤウナコトガ議論サレ  
マシテ、場合ニ依レバ何ボデモ利潤ヲ認メ  
テ宜イデハナイカト云フヤウナ議論ガ、仄  
カニ見エテ居ルコトヲ私ハ非常ニ憂ヘルノ  
デアリマシテ、斯ウ云フ點ハ非常ニ考ヘナ  
ケレバナラヌト思ヒマス、併シナガラ一部  
ノヤウニ、利潤ナンカ此ノ際認メナクテモ  
宜イ、國家資本ヲ擴大サシテドンヽ＼ヤル  
代リニ、利潤ナンカ認メナクテモ宜イ、ソ  
レカラ公債ノ利子デ宜イ、或ヘ社債ノ利子  
デ宜イト云フヤウナコトガアリマスガ、私  
ハソレハ取ラナイ、少クトモ經濟上ノ場合  
アルカト云フコトヲ、此ノ際十分御考ヘラ  
願ヒタイト思フノデゴザイマス、此ノニツ  
ノ點ニ關シマシテ、商工當局ノ御意見ヲハ  
ツキリト聽キタイト思ヒマ

Digitized by srujanika@gmail.com

意味ガ了解出来ナイノデ、或ハ私ノ答辯ガ明確ヲ缺クカモ知レマセヌガ、私ハ此ノ戰時下ニ於テ一定ノ計畫ニ基イテ、特ニ五ツノ戰力增强ノ中心ヲナス所ノモノガ、計畫通り生産サレルカサレナイカト云フコトハ、直チニ我ガ國ノ戰力ヲ左右スルモノデアル、隨テ官民共ニ此ノ五ツノ物ノ生産増強ニ付テハ、凡ユル力ヲ動員シテ、是ガ非デモ是ガ目的ヲ達成スルト云フコトニ邁進シテ行カナケレバナラヌ、此ノ爲ニハ政府ハ勿論ノコト、業界ニ於キマシテモ又統制會等ニ於テモ、凡ユル方面ガ此ノ一點ニ向ツテ、凡ユル力ヲ致シテ行クト云フコトデナケレバナラヌト思フノデアリマス、其ノ間ニ何等怠ケルトカ、或ハ此ノ國家ノ目的ノ遂行ニ、支障ヲ來スト云フヤウナコトヲ故意ニヤルトカ、或ハ過失デサウ云フコトヲ行フト云フヤウナコトハ、一ツモアツテハ相成ラヌト思フノデアリマス、既ニサウ云フ氣構ヘト、心構ヘト努力トガ、此ノ五大産業ノ生産增强ニ向ツテ實現サレナケレバナラヌト云フ意味ニ於テ此ノ法律ガ制定ヲサレル譯デアリマス、隨ヒマシテ假ニ商工大臣ニ鐵、石炭等ガ任サレルトシマスナラバ、商工大臣ガ凡ユル力ヲ動員致シマシテ、又凡ユル努力ヲ致シマシテ、之ヲ達成スルコトニ努メルコトハ當然デアリマス、統制會モ亦當然デアリマス、又之ヲ行ツテ居ル企業者自體モ當然デアリマス、又職場ヲ預カツテ居ル所ノ工場長ヤ或ハ勞務者ニ至ルマデ此ノ事ガ徹底シテ、之ヲ成シ遂ゲルト云フコトニ精進シナケレバナラヌ、斯ウ思ツスルノダ、何カソレニ對シテ制度トシテ責任ヲ取ラナケレバナラナイカト云フコト

ニ、生産ノ責任制ト云フコトガアリトスル  
ナラバ、私ハドウモ能ク分ラナイノデアリ  
マスガ、寧ロ此ノ問題ハ日本人トシテ今ノ  
時局ヲ認識シ考ヘマスト、精神的ナ非常ナ  
大キナ責任デアリ、其ノ責任ヲ痛感シテ、  
之ヲヤツテ行ク、唯從來動モスレバ事ガ出  
來ナカツタ場合ニ、ソレハ俺ノ責任ヂヤナ  
イノダ、何々ガ出來ナカツタカラサウナツ  
タノダ、例ヘバ輸送ノ關係ガ旨ク行カナカ  
ツタカラドウモ已ムヲ得ナイノダ、又輸送  
ノ方ニ行クト、ドウモ船舶ノ關係ヂエムヲ  
得ナカツタ、或ハ荷役ノ關係ガドウモ旨ク  
行カナカツタ、荷役ノ方ニ行クト何々ガド  
ウモ旨ク行カナカツタカラ、荷役能力ガ旨  
ク出ナカツタノダト云フ風ニグルヽ廻ツ  
テ、一體何處ニドウ云フヤウナ責任ガアル  
ノカ、何カ明確ナイヤウナ事柄ガ動モ  
スルトアリ得タノデアリマス、是ハ私ハ  
時局ノ認識及ビニ携ツテ居ル所ノ人々ノ  
眞剣サガ、不十分デアルト云フコトヲ示シ  
テ居ルト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於  
テ非常ナ強イ責任觀念ノ下ニ、總テガ凡ユ  
ル全力ヲ盡シテ行クト云フ意味ニ之ヲ解シ  
マスト、正ニ御話ノ通リデアリマス  
次ニ利潤ノ問題デアリマスガ、御説ノ如  
ク是等重要產業ノ生産増強ヲシテ行ク上ニ  
於キマシテハ、ヤハリ生産ヲシテモ引合ハ  
ナイト云フコトデハ生産増強ハ達成セラレ  
ナイ譯デアリマス、適正ナル利潤ト云フモ  
ノガ是等ニ興ヘラレルト云フ事柄ハ、私ハ  
當然デアラウト思ヒマス、唯問題ハ何ガ適  
正利潤デアルカト云フコトノ判定ガ非常ナ  
問題デアラウト思ヒマス、今御話ニナリマ  
シタヤウニ、產業全體カラ見タ一ツノ考ヘ  
方モ出テ來マセウシ、或ハ社會正義ノ觀念

カラ一つノ判断ガ出テ來ルト云フコトニアリマシテ、此ノ兩方トモヤハリ考ヘヤウ「フイック化ニ連レマシテ、必ズシモ其ノ「フイックス」シタ何「パーント」ガ適正デアルト釘付ケニナシ得ナイ性質ノモノデアラウト用フノデアリマス、私共實ハサウ云フコトカラ色々々此ノ問題ガ論ゼラマスト、一種ノ腰ダメデアルト云フヤウナ説明モ、從來大筋的ナ判断カラ生レテ來ルノデ、標準ガ非常ニ明確ニ數字的ニ示シ得ナイ點ガソコニアルヤウニ思ヒマス、唯斯ウ云フ事業ヲ國家管理デヤツテシマフト云フコトナシナイト云フコトハ、總理ガ明確ニ述ベタ通リデアリマス、私共モサウ思ツテ居リマス、然ラバ幾ラ儲ケテモ宜イカラ、之ヲ全部稅金デ取ルト云フヤウナ制度ヲ執ルコトモ、私へ日本ノ實情カラ言ツテ適正デナイト思ヒマス、ドウシテモヤハリ嚴格ナル原價計算ヲ行ツテ、之ニ適正利潤ヲ認メタ程度ニ於テ、其ノ製品ガ販賣出來ルト云フヤウナ方法ヲ執ルコトガ適當デアルト思フノデアリマス、折角私共ノ方ニ於テモ原價計算ニ關スル機構ナリ、職員ヲ色々整備致シマシテ、又統一原價計算ニ關スル研究モ各方面ノ權威者ガ集マツテヤツテ居リマス、現場ニ於キマシテモ色々原單位ノ計算ノ問題等ト睨合ハセテ、合理化サレタ原價ノ計算ト云フコトニ付キマシテ、重要産業部面ニ於テハソゾレ進メテ居リマスカラ、ソレ等ト睨合ハセテ今御話ノアリマシタヤウナ產業的、社會的見地カラ適正利潤ヲ決メルト云フコトガ、一番妥當デアルト思ツテ居リマス

スガ、モウ約束ノ六時ニナリマシタカラ是  
デ打切りマス  
○喜多委員 請イヤウデスガ、私ハ明日早  
速商工當局ノ質疑ノ番ガ來テ居リマス、ソ  
レニ必要ナ資料トシテ委員會ノ最初ニ御願  
ヒシテ、モウ六日目デアリマス、遞信省ア  
タリカラヘ出マシタガ、商工省當局カラハ  
一部モ出テ居リマセヌ、是ハ一ツ明日私ノ  
質疑マデニ是非御出シヲ願ヒタイト思フ  
○前田委員長 喜多壯一君ノ要求ノ資料ハ、  
成ベク明朝閉會マデニ御提出ヲ希望致シマ  
ス、明日ハ午前十時ヨリ閉會致シマス、本